
宇和島市 地域福祉の推進に関する 中学生アンケート調査

－ 報告書 －

令和3（2021）年11月
愛媛県 宇和島市

～ 目 次 ～

| | |
|----------------------------------|-----------|
| I 調査の概要 | 1 |
| II 回答者の属性 | 3 |
| 1 性別構成 | 3 |
| 2 居住歴 | 3 |
| 3 同居家族 | 4 |
| III 調査結果 | 5 |
| 1 近所の人とのあいさつについて | 5 |
| 2 身近に手助けが必要な人の有無 | 6 |
| 3 家事を手伝う時間 | 7 |
| 4 街中で手助けをする機会 | 8 |
| 5 手助けをしない理由 | 10 |
| 6 近所での助け合いの必要性 | 11 |
| 7 住民同士のつながり意識について | 13 |
| 8 困ったときに助けてくれる友人の有無 | 14 |
| 9 困っている友人に声をかけること | 15 |
| 10 地域の問題や課題への関心度 | 16 |
| 11 地域の行事や活動への参加状況 | 18 |
| 12 ボランティア活動への参加状況 | 19 |
| 13 ボランティア活動の内容 | 20 |
| 14 ボランティア活動への参加意向 | 21 |
| 15 ボランティア活動を活発にするために大切なこと | 23 |
| 16 福祉のまちづくりを推進するためにできること | 24 |
| 17 宇和島市への愛着度 | 25 |
| 18 宇和島市の住みやすさ | 26 |
| 19 将来、宇和島市に戻ってくることにについて | 27 |
| 20 宇和島市の良さや自慢できること（自由記述回答） | 29 |
| 21 福祉のまちづくりに関する意見やアイデアなど（自由記述回答） | 30 |
| 資料 調査票 | 39 |

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「第3期宇和島市地域福祉計画」の策定にあたり、中学生の福祉に関する現状や課題、意向等を把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

市内の中学2年生の生徒

【調査方法】

各学校を通して配布、回収

【調査期間】

令和3（2021）年9月

【回収結果】

配布数 ----- 581 件

有効回収数 ----- 528 件

有効回収率 ----- 90.9%

【学校別回収状況】

| | 構成比(%) | 件数(件) |
|----------------|--------|-------|
| 宇和島市立城東中学校 | 21.6 | 114 |
| 宇和島市立城南中学校 | 11.7 | 62 |
| 宇和島市立城北中学校 | 18.6 | 98 |
| 宇和島市立吉田中学校 | 11.0 | 58 |
| 宇和島市立三間中学校 | 7.8 | 41 |
| 宇和島市立津島中学校 | 11.2 | 59 |
| 愛媛県立宇和島南中等教育学校 | 18.2 | 96 |
| 合計 | 100.0 | 528 |

注：問2回答結果より

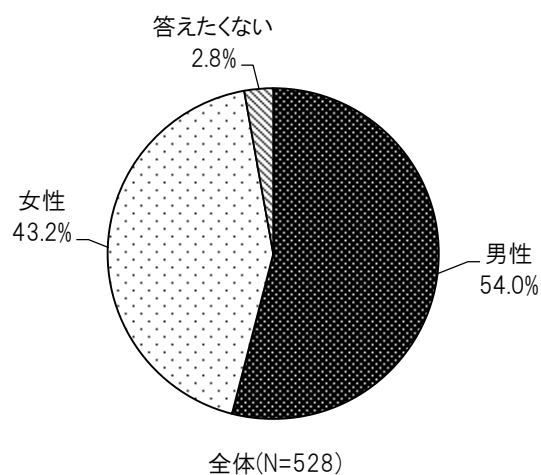
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における性別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、性別でクロス集計する場合における性別の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

Ⅱ 回答者の属性

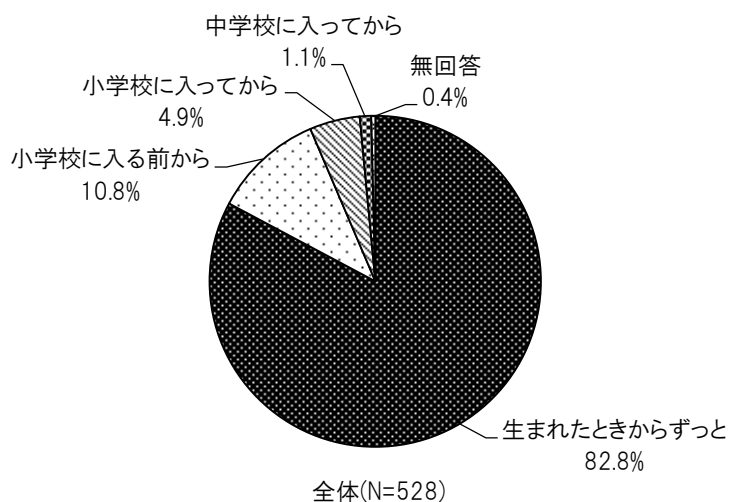
1 性別構成

回答者の性別構成比は、「男性」が 54.0%、「女性」が 43.2%と、男性の割合が女性を上回っている。



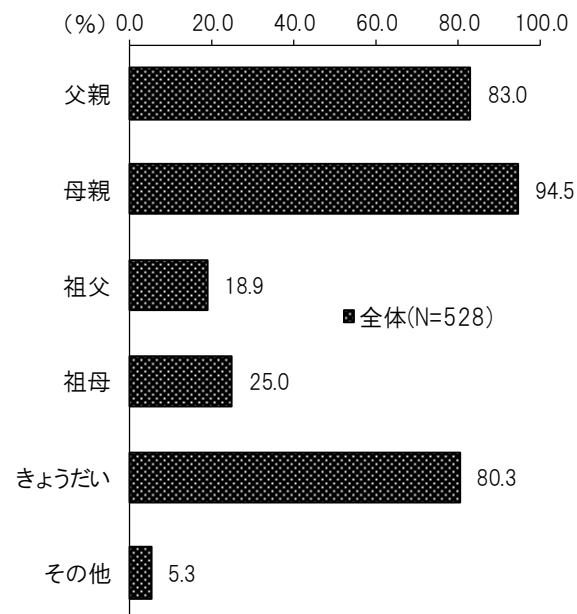
2 居住歴

居住歴については、「生まれたときからずっと」の割合が 82.8%と最も高く、次いで「小学校に入る前から」(10.8%)、「小学校に入ってから」(4.9%)、「中学校に入ってから」(1.1%)の順となっている。



3 同居家族

同居家族については、「母親」の割合が94.5%と最も高く、次いで「父親」(83.0%)、「きょうだい」(80.3%)、「祖母」(25.0%)、「祖父」(18.9%)の順となっている。



Ⅲ 調査結果

1 近所の人とのあいさつについて

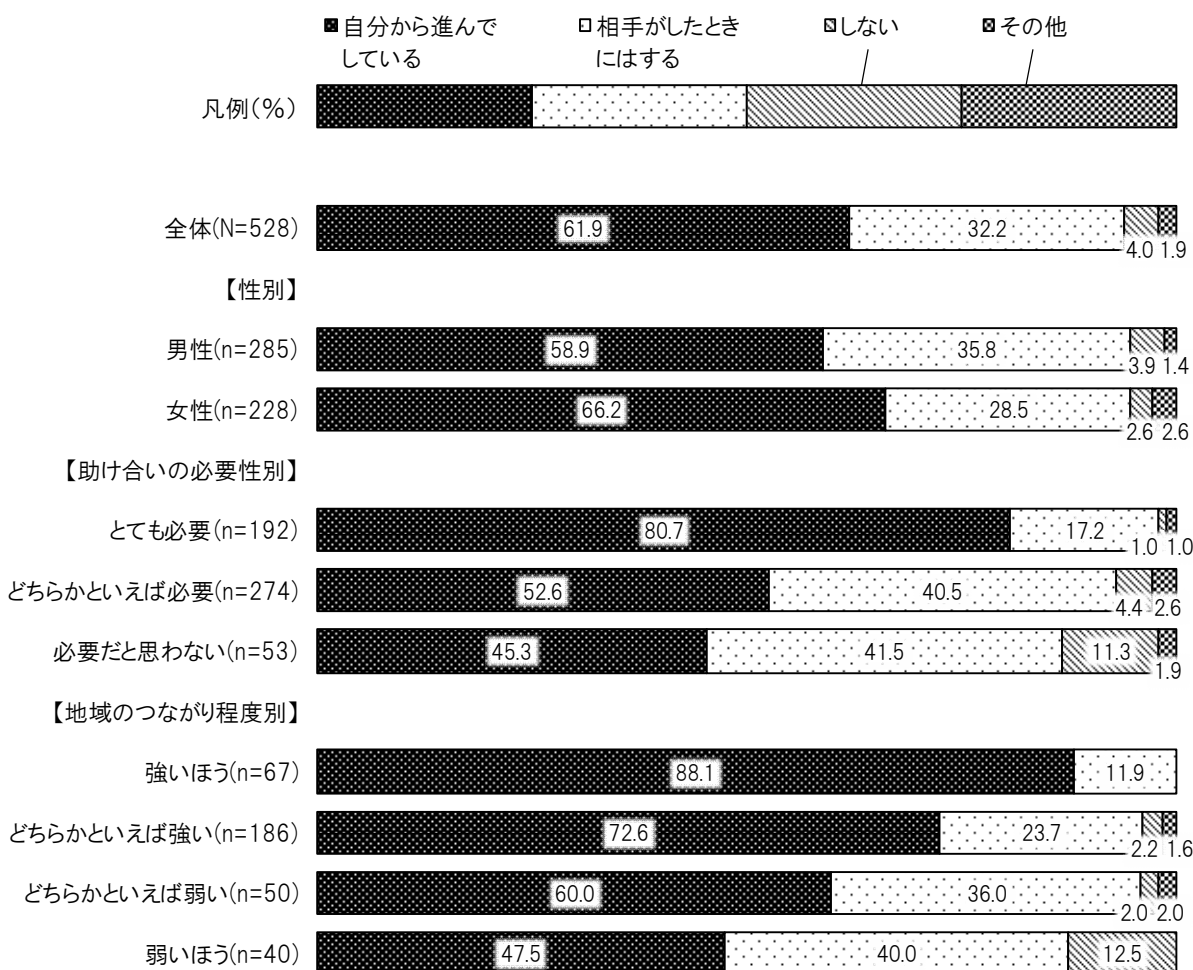
問5 あなたはふだん、近所の人とあいさつをしていますか。（○は1つ）

近所の人とのあいさつについては、「自分から進んでしている」の割合が61.9%、「相手がしたときにはする」が32.2%、合計で94.1%となっている。一方、「しない」は4.0%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「相手がしたときにはする」の割合が高く、女性は「自分から進んでしている」の割合が高くなっている。

助け合いの必要性別*（問10）では、とても必要と回答した層で「自分から進んでしている」の割合が他の層を大きく上回っている。

地域のつながり程度別（問11）では、強いと感じている層ほど「自分から進んでしている」の割合が高くなっている。



※助け合いの必要性別については、下記のように表記している。

「どちらかといえば必要だと思わない」「必要だと思わない」→「必要だと思わない」

2 身近に手助けが必要な人の有無

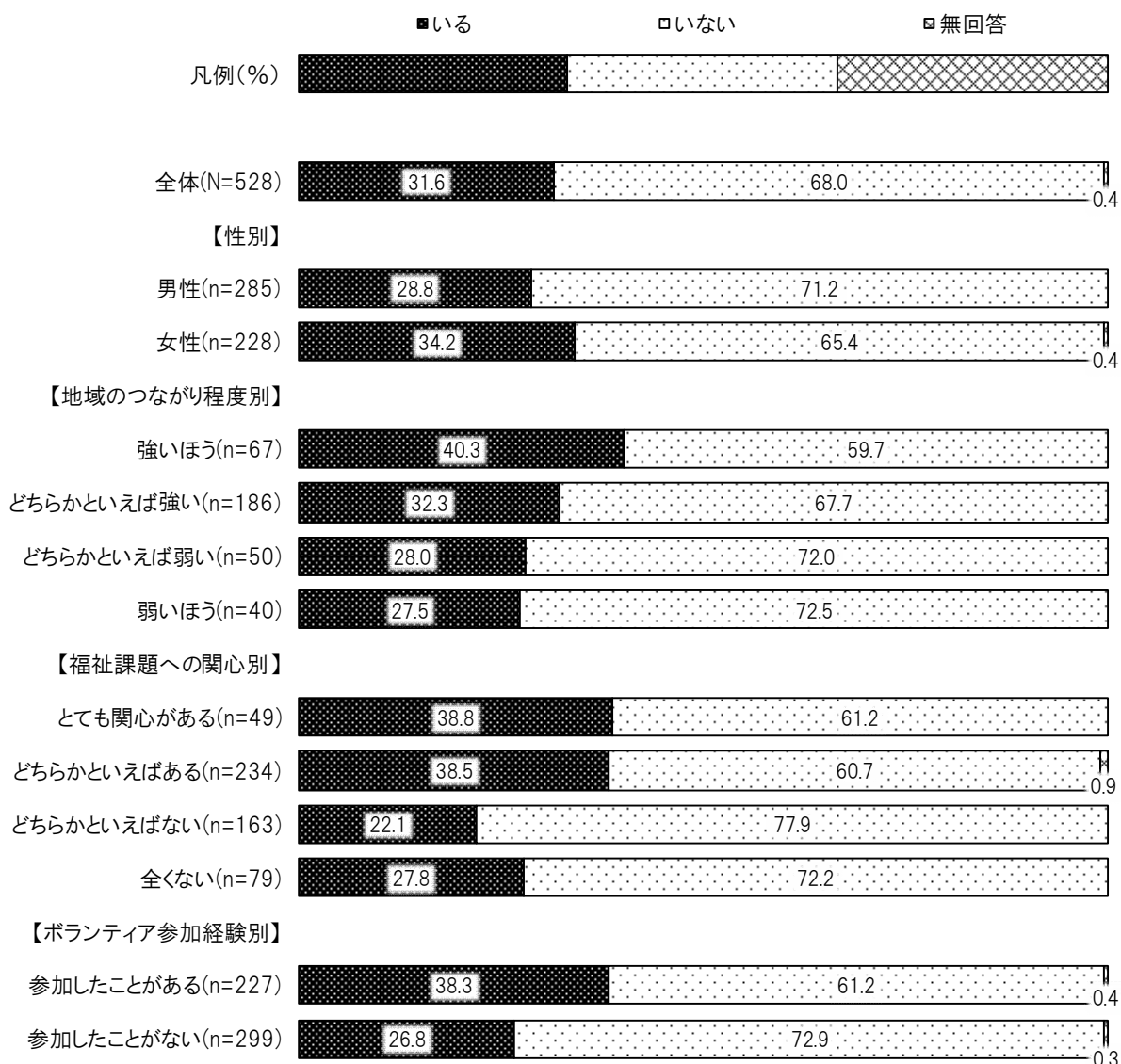
問6 あなたの家族や友人・知人など身近な人に、手助けの必要なお年寄りや障がいのある人がいますか。(○は1つ)

身近に手助けが必要な人の有無については、「いる」が31.6%、「いない」が68.0%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「いる」の割合が高くなっている。

地域のつながり程度別では強いほうと回答した層で、福祉課題への関心別(問14)では関心があると回答した層で、「いる」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

ボランティア参加経験別^{*}(問16)では、参加したことがある層で「いる」の割合が、参加したことがない層を大きく上回っている。



^{*}ボランティア参加経験別については、下記のように表記している。

「現在、参加している」「現在は参加していないが、以前に参加したことがある」→「参加したことがある」

3 家事を手伝う時間

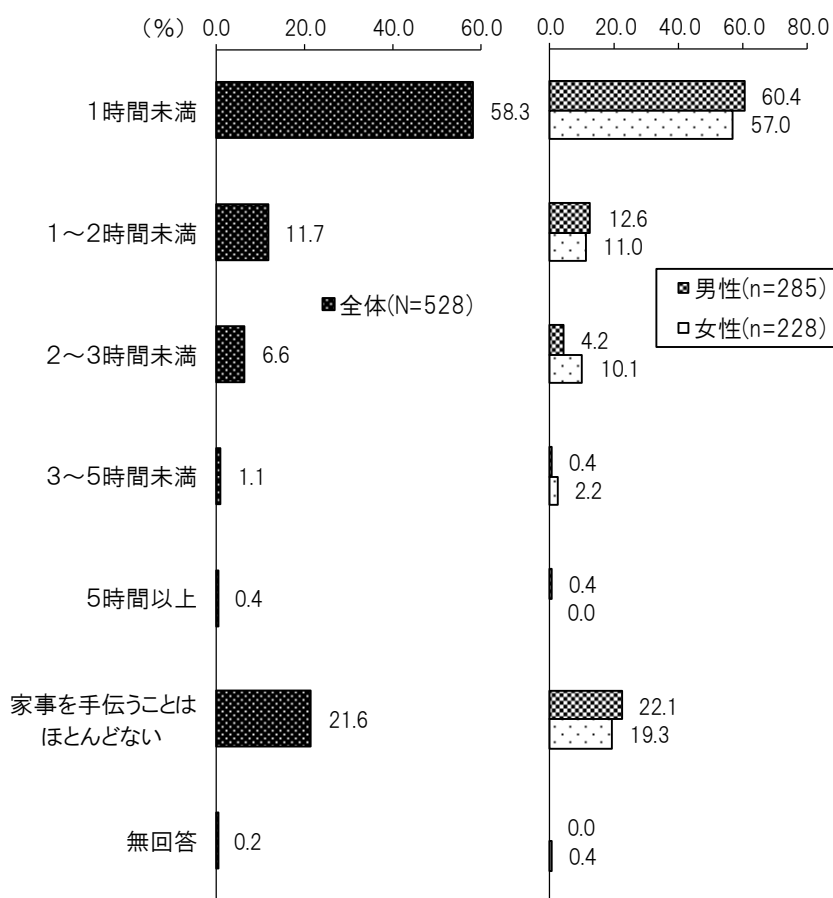
問7 あなたは、ふだん、1日に平均何時間ぐらい家事の手伝いをしていますか。

(○は1つ)

※ 家事とは、食事のしたくや洗たく、そうじなどのほか、きょうだいや祖父母の世話なども含みます。

家事を手伝う時間については、「1時間未満」の割合が58.3%と最も高く、次いで「1～2時間未満」(11.7%)、「2～3時間未満」(6.6%)の順となっている。一方、約2割(21.6%)は「家事を手伝うことはほとんどない」と回答している。

性別では、女性は男性に比べ「2～3時間未満」の割合が高くなっている。



4 街中で手助けをする機会

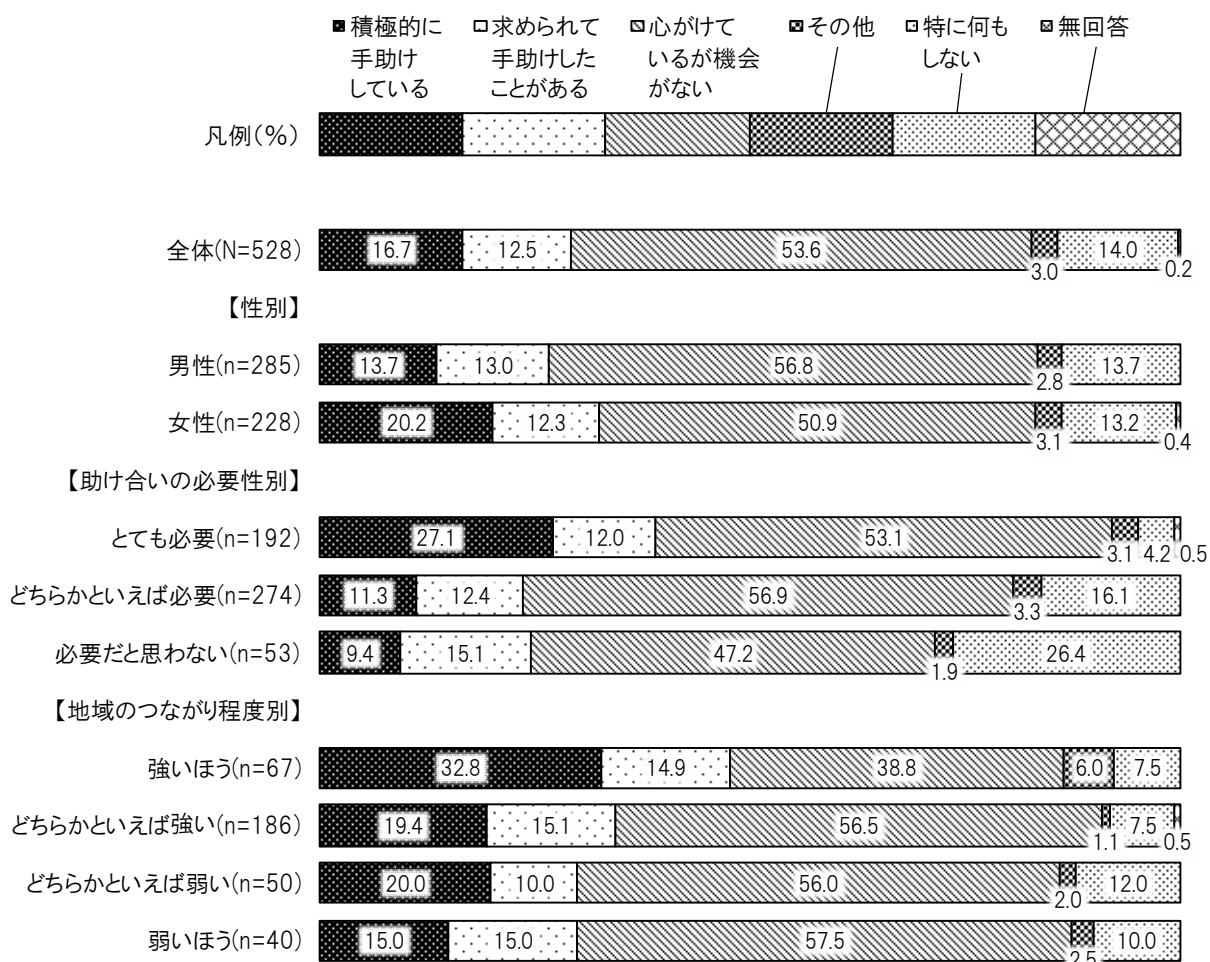
問8 あなたは、街で困っている人を見かけたとき、手助けをしていますか。（例えば、階段やスロープでの車いすの手助けや横断歩道を渡る手助け、バス・電車で席をゆずる・・・など）（○は1つ）

街中で手助けをする機会については、「心がけているが機会がない」の割合が53.6%と最も高く、次いで「積極的に手助けしている」（16.7%）、「求められて手助けしたことがある」（12.5%）の順となっている。一方、「特に何もしない」は14.0%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「心がけているが機会がない」の割合が高く、女性は「積極的に手助けしている」の割合が男性を上回っている。

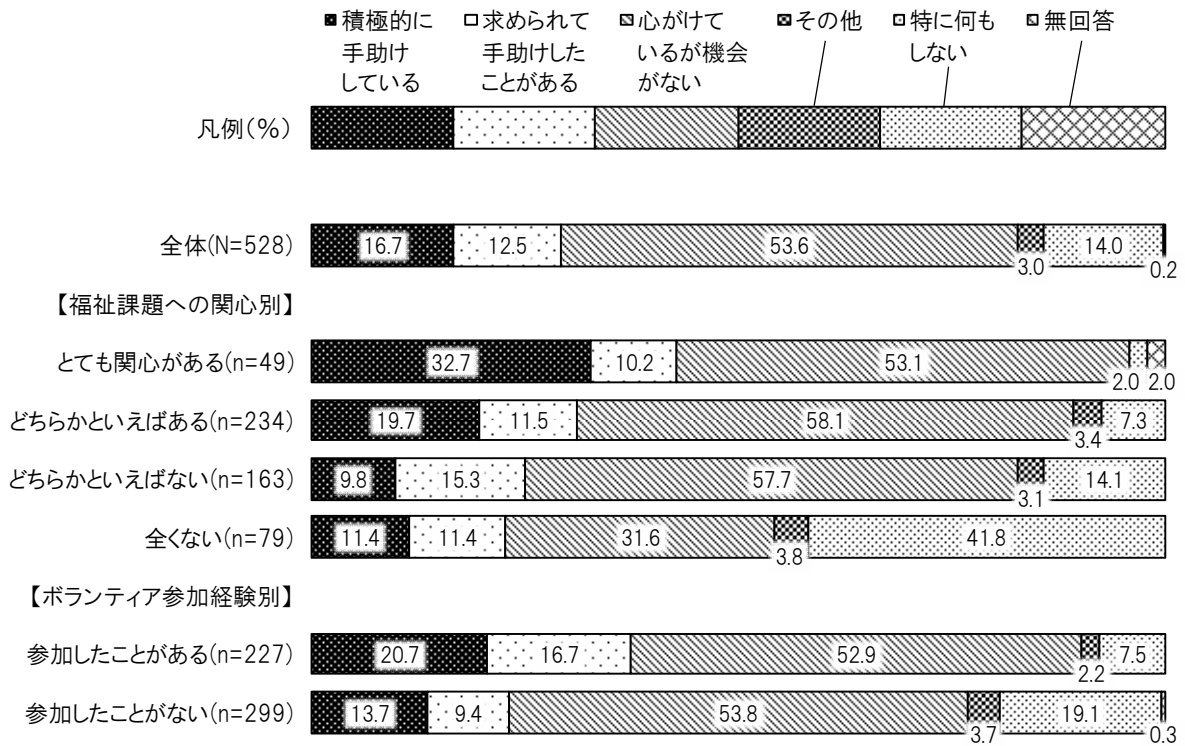
助け合いの必要性別では、とても必要と回答した層で「積極的に手助けしている」の割合が他の層を大きく上回っている。

地域のつながり程度別では、強いほうと回答した層で「積極的に手助けしている」の割合が他の層を大きく上回っている。



福祉課題への関心別では、関心があると回答した層で「積極的に手助けしている」の割合が他の層に比べて高くなっている。

ボランティア参加経験別では、参加したことがある層は無い層に比べて「積極的に手助けしている」の割合が高くなっている。



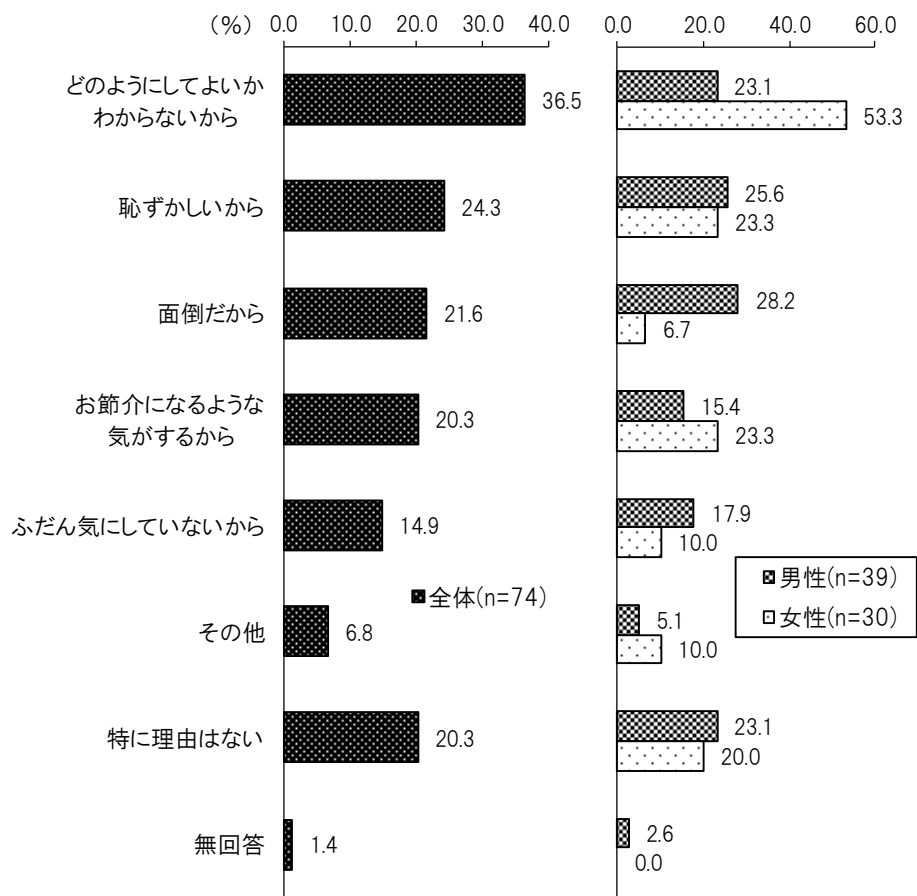
5 手助けをしない理由

【問8で「5」と回答した方におたずねします】

問9 何もしない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

手助けをしない理由については、「どのようにしてよいかわからないから」の割合が36.5%と最も高く、次いで「恥ずかしいから」(24.3%)、「面倒だから」(21.6%)、「お節介になるような気がするから」(20.3%)の順となっている。また、「特に理由はない」は20.3%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「面倒だから」の割合が高く、女性は「どのようにしてよいかわからないから」の割合が男性を大きく上回っている。



6 近所での助け合いの必要性

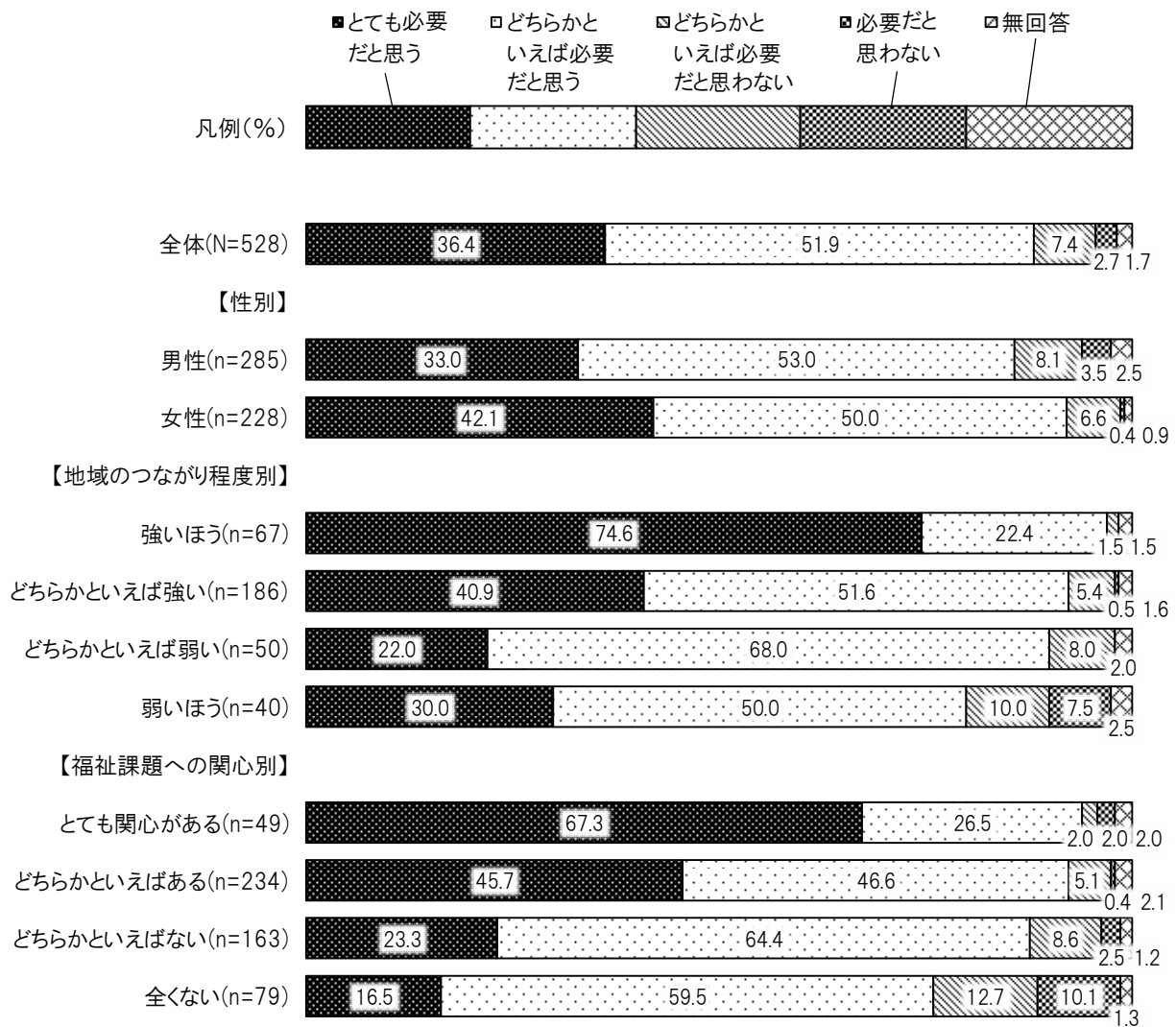
問 10 あなたは、ふだんの暮らしの中で、ご近所による支え合い、助け合いが必要だと思いますか。（○は1つ）

近所での助け合いの必要性については、「とても必要だと思う」が36.4%、「どちらかといえば必要だと思う」が51.9%で、合計約9割（88.3%）が『必要だと思う』と回答している。一方、「どちらかといえば必要だと思わない」（7.4%）、「必要だと思わない」（2.7%）の合計は約1割（10.1%）となっている。

性別では、女性は男性に比べ「とても必要だと思う」の割合が高くなっている。

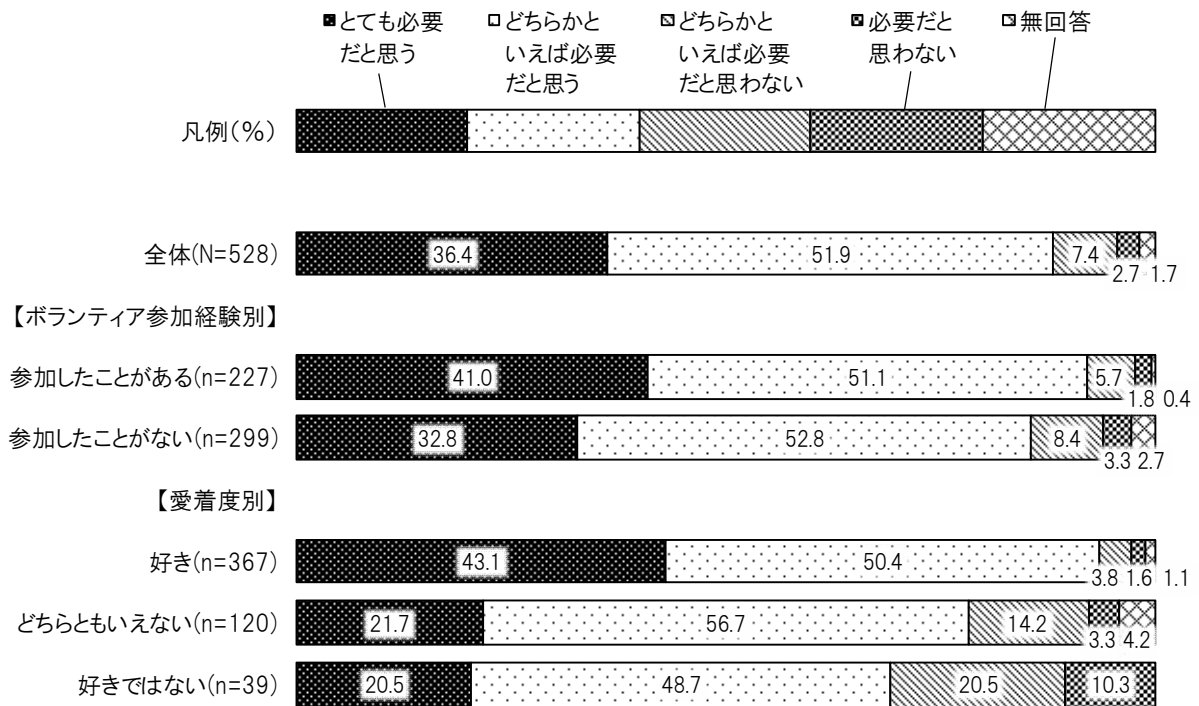
地域のつながり程度別では、強いほうと回答した層で「とても必要だと思う」の割合が他の層を大きく上回っている。

福祉課題への関心別では、関心がある層ほど「とても必要だと思う」の割合が高くなっている。



ボランティア参加経験別では、参加したことがある層は無い層に比べて「とても必要だと思う」の割合が高くなっている。

愛着度別※（問 21）では、宇和島市を好きと回答した層で「とても必要だと思う」の割合が他の層を大きく上回っている。



※愛着度別については、下記のように表記している。

「とても好き」「どちらかといえば好き」→「好き」

「どちらかといえば好きではない」「好きではない」→「好きではない」

7 住民同士のつながり意識について

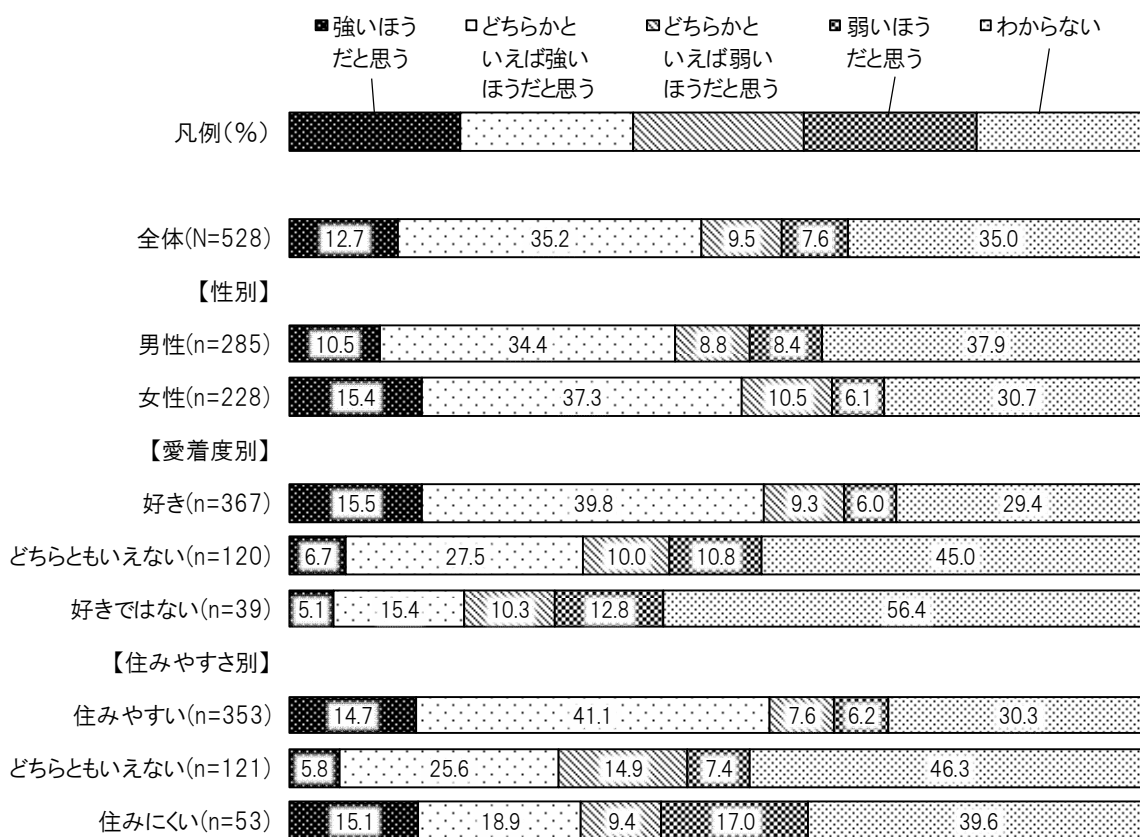
問 11 あなたがお住まいの地域では、住民同士のつながりは、強いほうだと思いますか。
(○は1つ)

住民同士のつながり意識については、「強いほうだと思う」が 12.7%、「どちらかといえば強いほうだと思う」が 35.2%、合計で約半数（47.9%）が『強いほうだと思う』と回答している。一方、「どちらかといえば弱いほうだと思う」（9.5%）、「弱いほうだと思う」（7.6%）の合計は 17.1%であった。

性別では、男性は女性に比べ「わからない」の割合が高く、女性は「強いほうだと思う」の割合が男性を上回っている。

愛着度別では、宇和島市を好きと回答した層で『強いほうだと思う（合計）』の割合が他の層を大きく上回っている。

住みやすさ別※（問 22）では、住みやすいと感じている層で『強いほうだと思う（合計）』の割合が他の層を大きく上回っている。



※住みやすさ別については、下記のように表記している。

「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」→「住みやすい」
「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」→「住みにくい」

8 困ったときに助けてくれる友人の有無

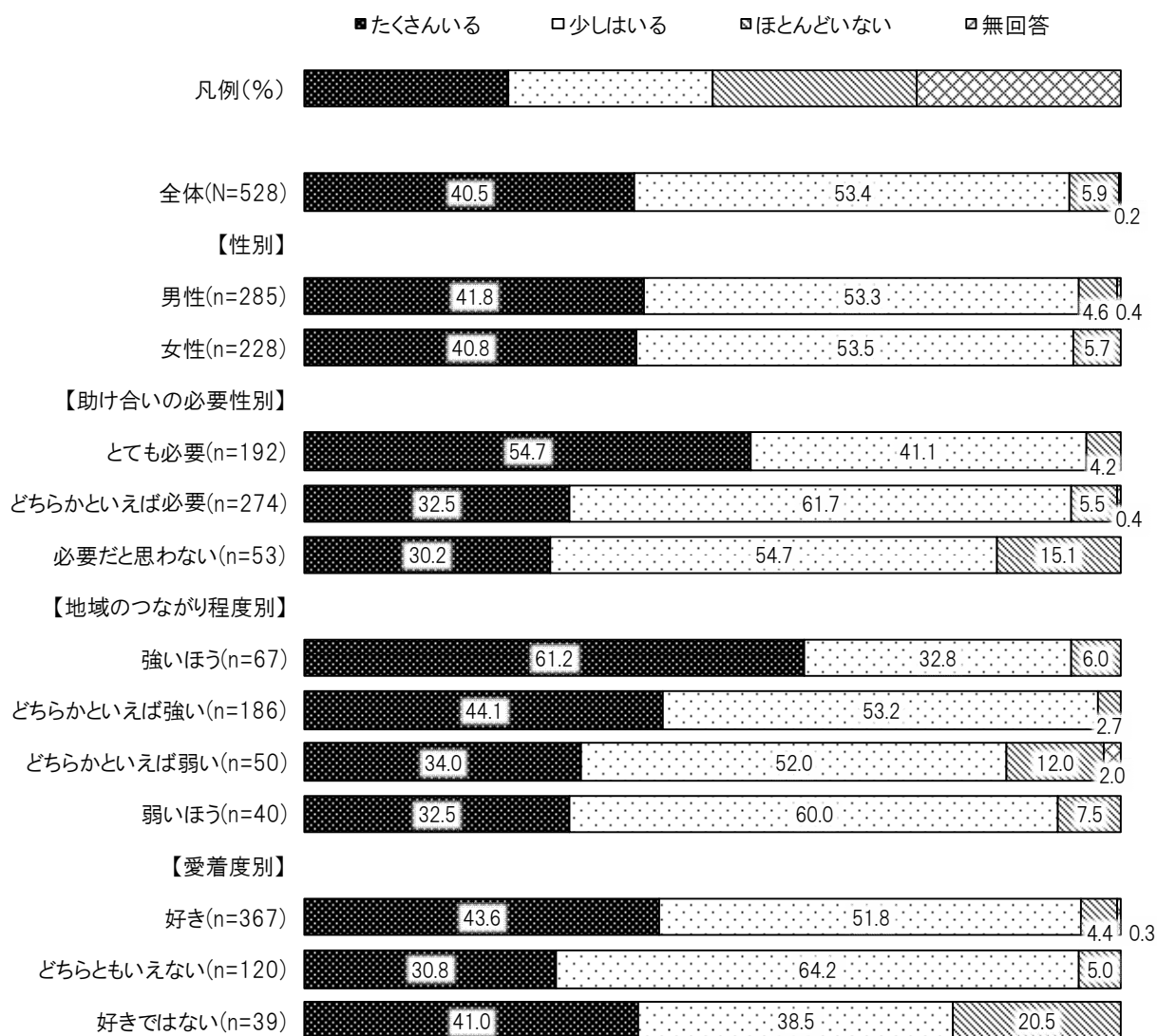
問 12 あなたは、話を聞いてくれたり、困ったときに助けてくれたりする友人がいますか。(○は1つ)

困ったときに助けてくれる友人の有無については、「たくさんいる」の割合が40.5%、「少しはある」が53.4%、合計で93.9%となっている。一方、「ほとんどいない」は5.9%となっている。

性別では大きな差はみられないが、助け合いの必要性別では、とても必要と回答した層で「たくさんいる」の割合が他の層を大きく上回っている。

地域のつながり程度別では、強いほうと回答した層で「たくさんいる」の割合が他の層を大きく上回っている。

愛着度別では、宇和島市を好きではないと回答した層で「ほとんどいない」の割合が高くなっている。



9 困っている友人に声をかけること

問 13 あなたは、悩みや困りごとのある友だちがいたら、自分から声をかけて相談に乗ることができますか。(○は1つ)

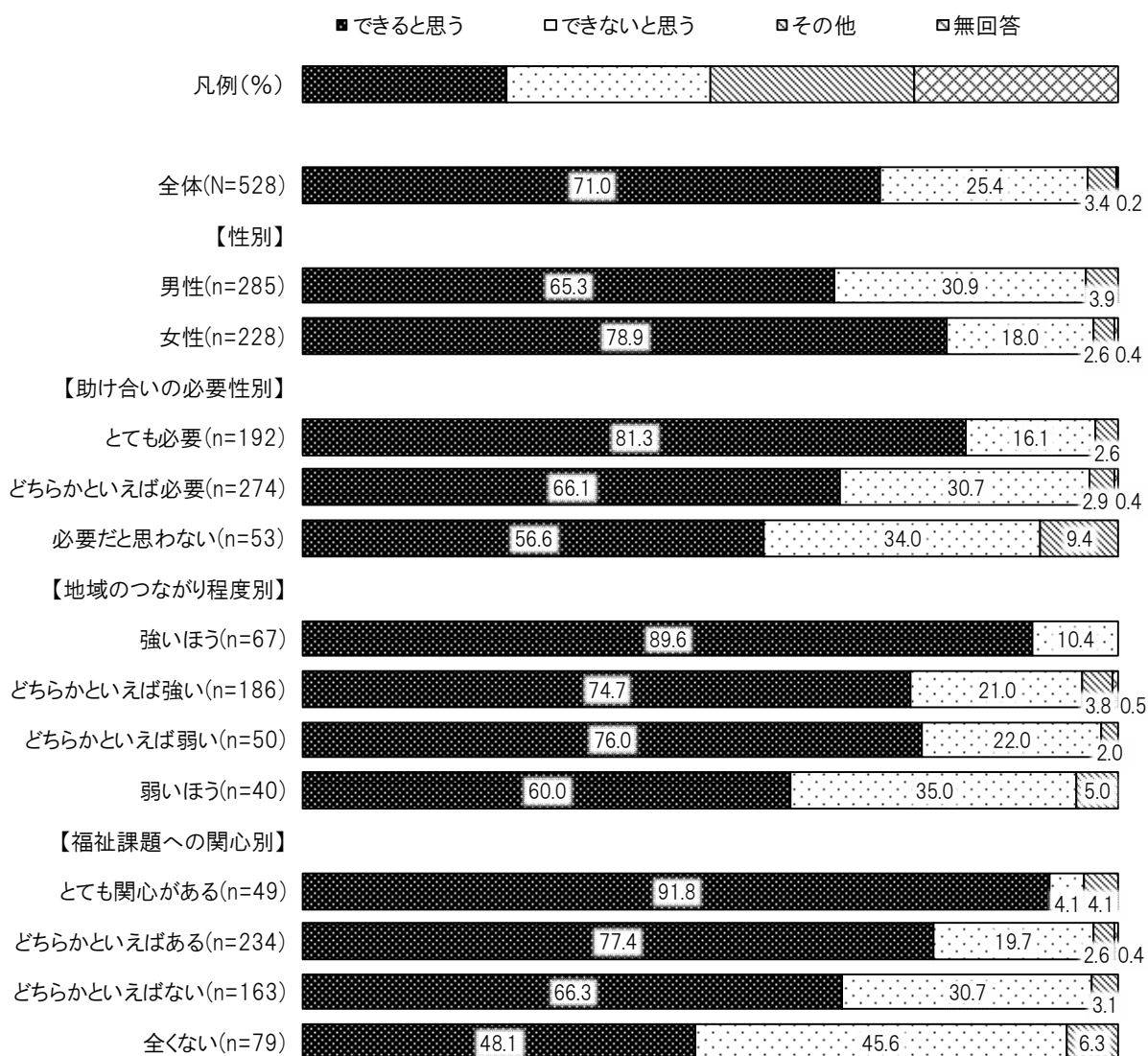
困っている友人に声をかけることについては、「できると思う」が71.0%、「できないと思う」が25.4%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「できないと思う」の割合が高く、女性は「できると思う」の割合が男性を大きく上回っている。

助け合いの必要性別では、必要と回答した層ほど「できると思う」の割合が高くなっている。

地域のつながり程度別では、強いほうと回答した層で「できると思う」の割合が他の層に比べて高くなっている。

福祉課題への関心別では、関心がある層ほど「できると思う」の割合が高くなっている。



10 地域の問題や課題への関心度

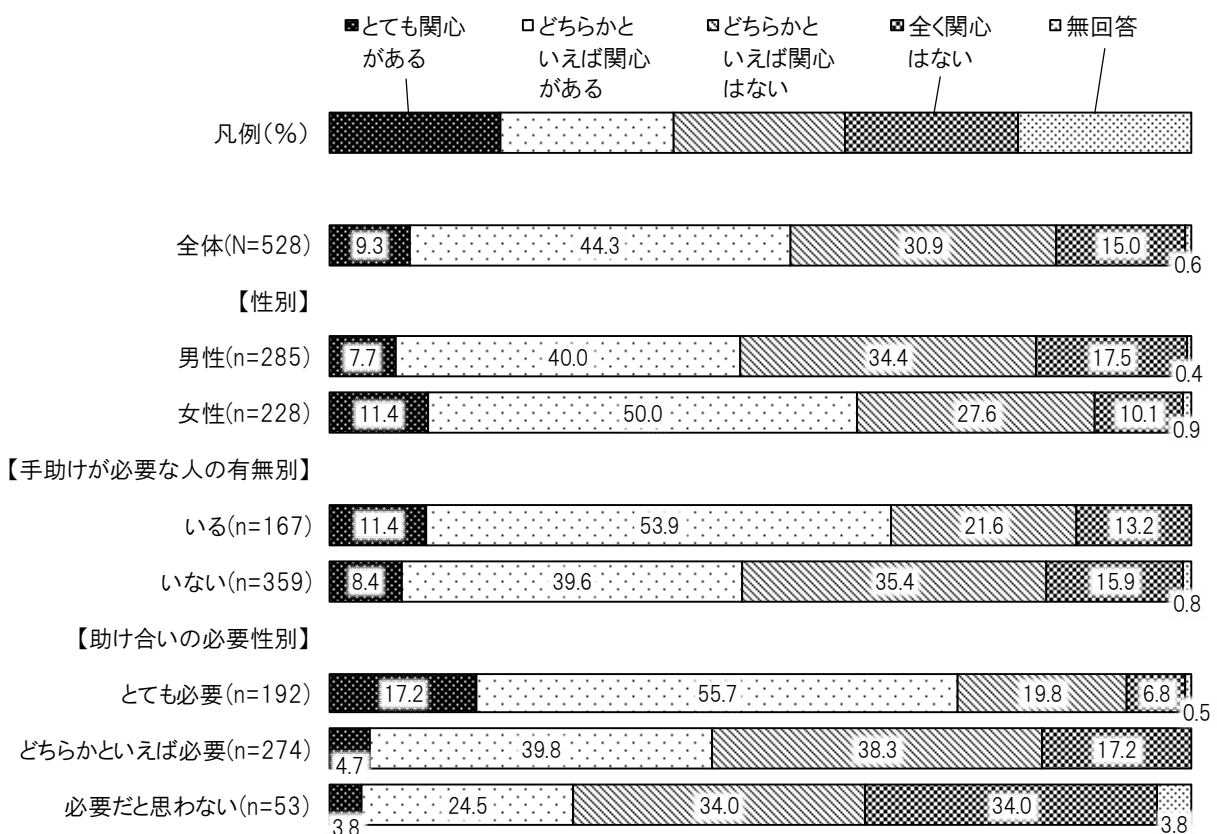
問 14 あなたは、住んでいる地域の福祉に関する様々な問題や課題に関心がありますか。
 (例：ひとり暮らし高齢者の見守り、経済的に生活に困っている世帯、子どもの貧困、子どもや高齢者への虐待、ひきこもりなど) (○は1つ)

地域の問題や課題への関心度については、「とても関心がある」が 9.3%、「どちらかといえば関心がある」が 44.3%で、合計 53.6%が『関心がある』と回答している。一方、「どちらかといえば関心はない」(30.9%)、「全く関心はない」(15.0%)の合計は 45.9%であった。

性別では、男性は女性に比べ『関心はない(合計)』の割合が高く、女性は『関心がある(合計)』の割合が男性を大きく上回っている。

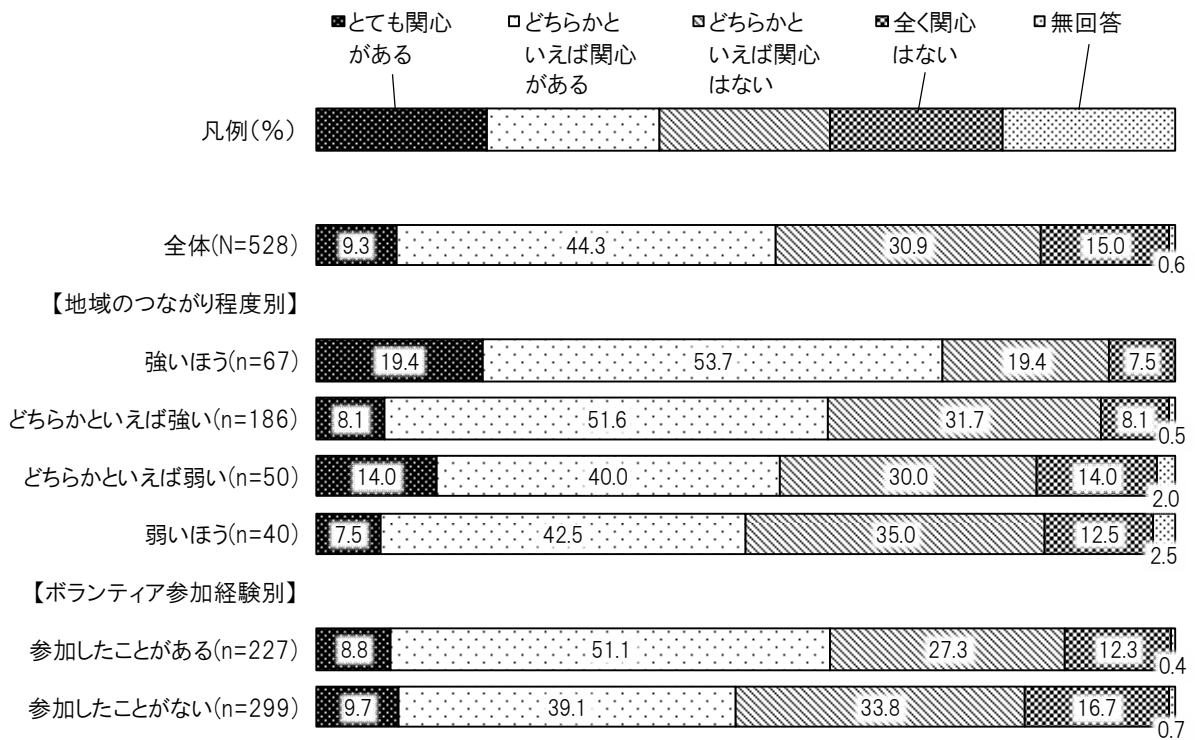
手助けが必要な人の有無別(問6)では、いる層で『関心がある(合計)』の割合がいない層を大きく上回っている。

助け合いの必要性別では、必要と回答した層ほど『関心がある(合計)』の割合が高くなっている。



地域のつながり程度別では、強いと回答した層ほど『関心がある（合計）』の割合が高くなっている。

ボランティア参加経験別では、参加したことがある層は無い層に比べて「どちらかといえば関心がある」の割合が高くなっている。

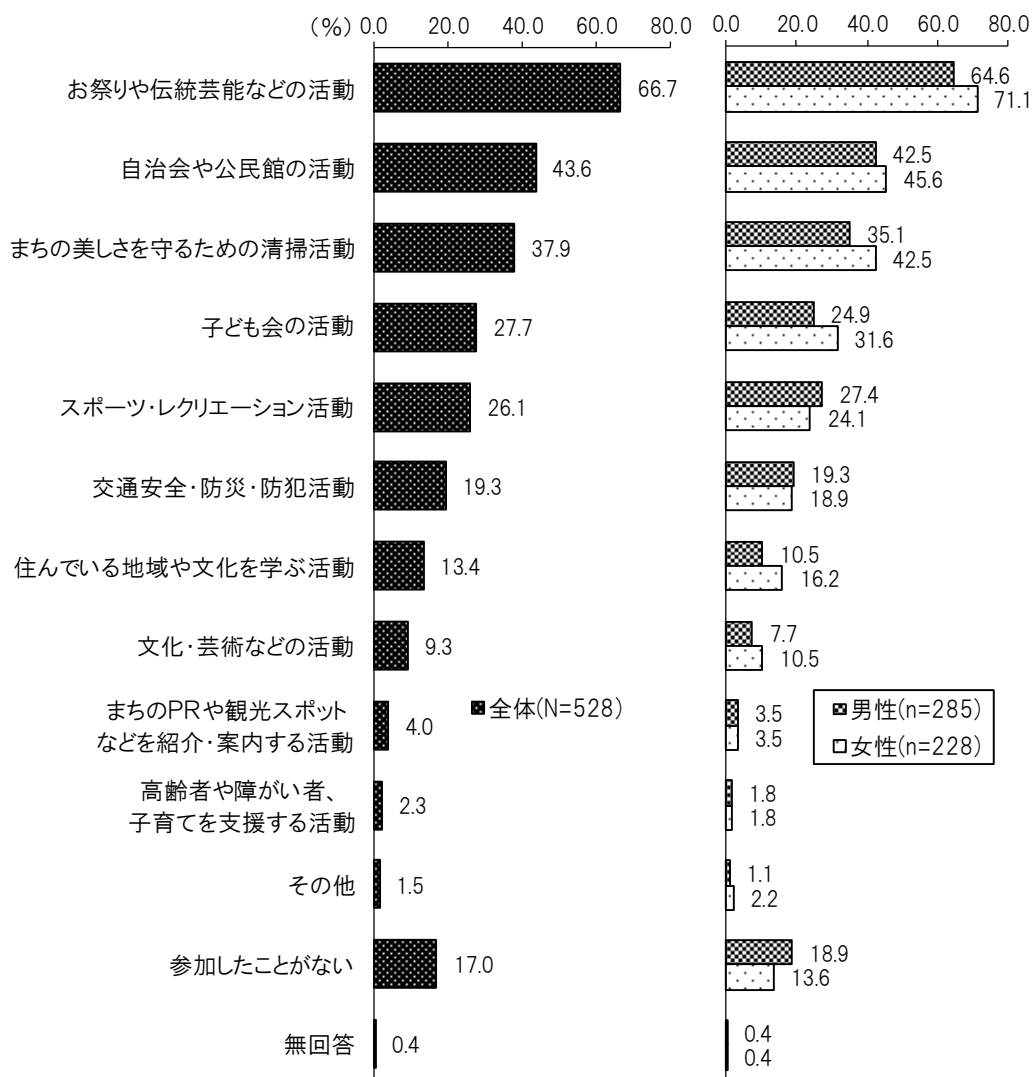


11 地域の行事や活動への参加状況

問 15 あなたは、自分が住んでいる地域の子ども会や自治会などの、地域の行事や活動に参加したことがありますか。コロナ前の経験も含めてお答えください。
(〇はいくつでも)

地域の行事や活動への参加状況については、「お祭りや伝統芸能などの活動」の割合が66.7%と最も高く、次いで「自治会や公民館の活動」(43.6%)、「まちの美しさを守るための清掃活動」(37.9%)、「子ども会の活動」(27.7%)、「スポーツ・レクリエーション活動」(26.1%)の順となっている。一方、「参加したことがない」は17.0%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「お祭りや伝統芸能などの活動」「まちの美しさを守るための清掃活動」「子ども会の活動」などの割合が高くなっている。



12 ボランティア活動への参加状況

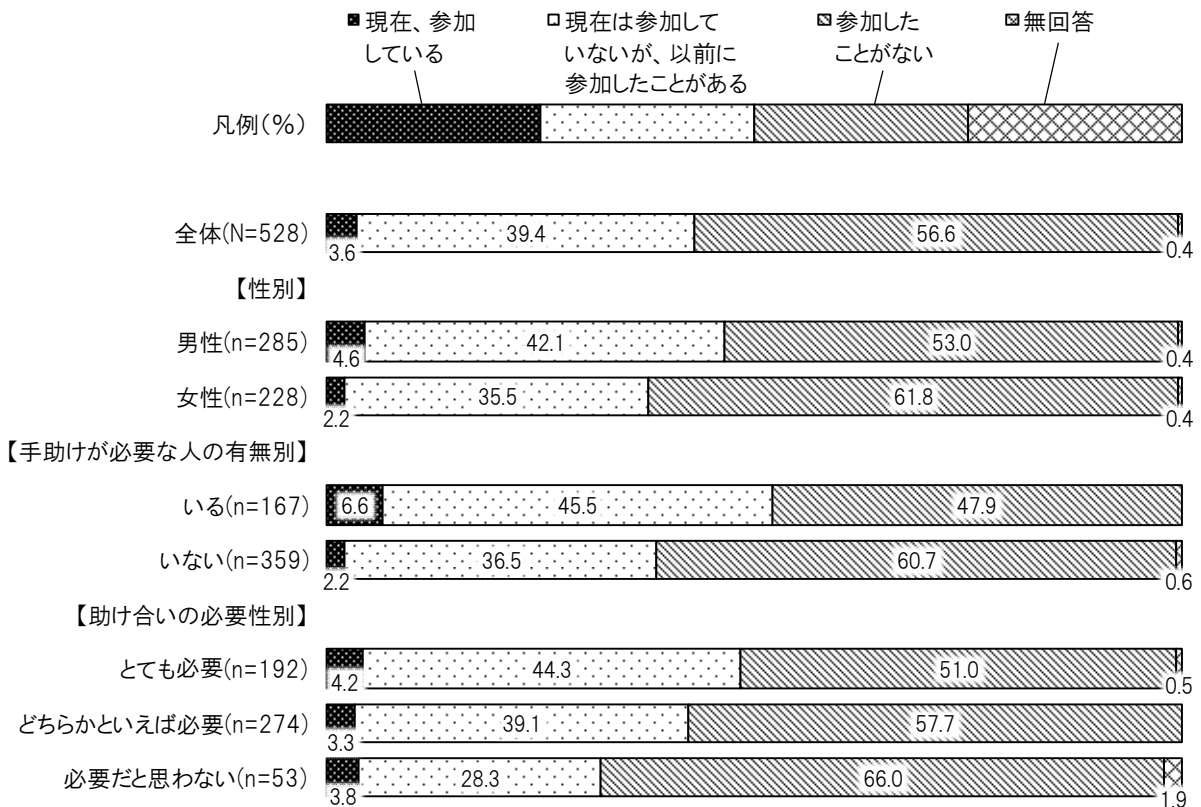
問 16 あなたは、学校の活動以外でボランティア活動に参加したことがありますか。
(○は1つ)

ボランティア活動への参加状況については、「現在、参加している」が 3.6%、「現在は参加していないが、以前に参加したことがある」が 39.4%、合計で 43.0%となっている。一方、「参加したことがない」は 56.6%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「現在は参加していないが、以前に参加したことがある」の割合が高く、女性は「参加したことがない」の割合が男性を上回っている。

手助けが必要な人の有無別では、いる層はいない層に比べて「現在は参加していないが、以前に参加したことがある」の割合が高くなっている。

助け合いの必要性別では、必要と回答した層ほど「現在は参加していないが、以前に参加したことがある」の割合が高くなっている。



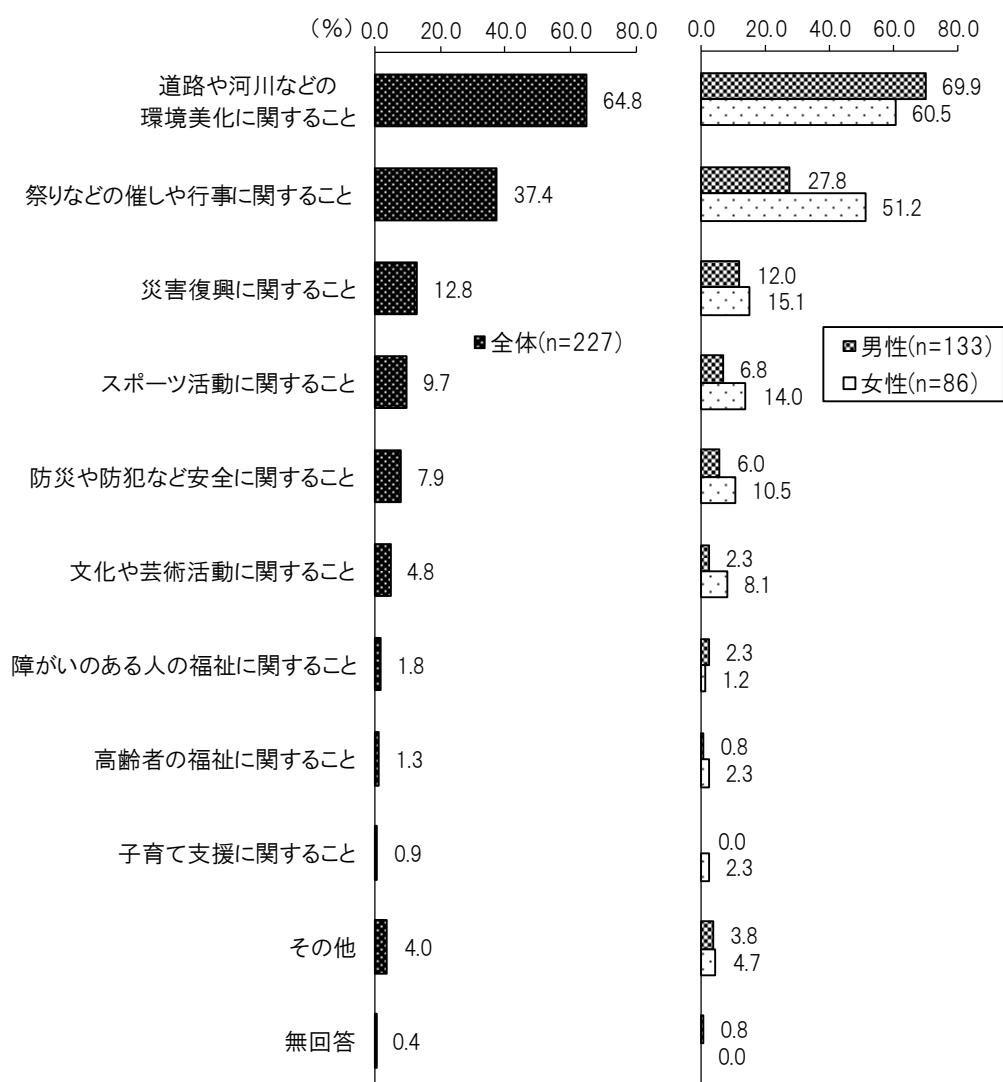
13 ボランティア活動の内容

【問 16 で「1」「2」と回答した方におたずねします】

問 17 どのようなボランティア活動に参加したことがありますか。（〇はいくつでも）

ボランティア活動の内容については、「道路や河川などの環境美化に関すること」の割合が64.8%と最も高く、次いで「祭りなどの催しや行事に関すること」（37.4%）、「災害復興に関すること」（12.8%）、「スポーツ活動に関すること」（9.7%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「道路や河川などの環境美化に関すること」の割合が高く、女性は「祭りなどの催しや行事に関すること」の割合が男性を大きく上回っている。



14 ボランティア活動への参加意向

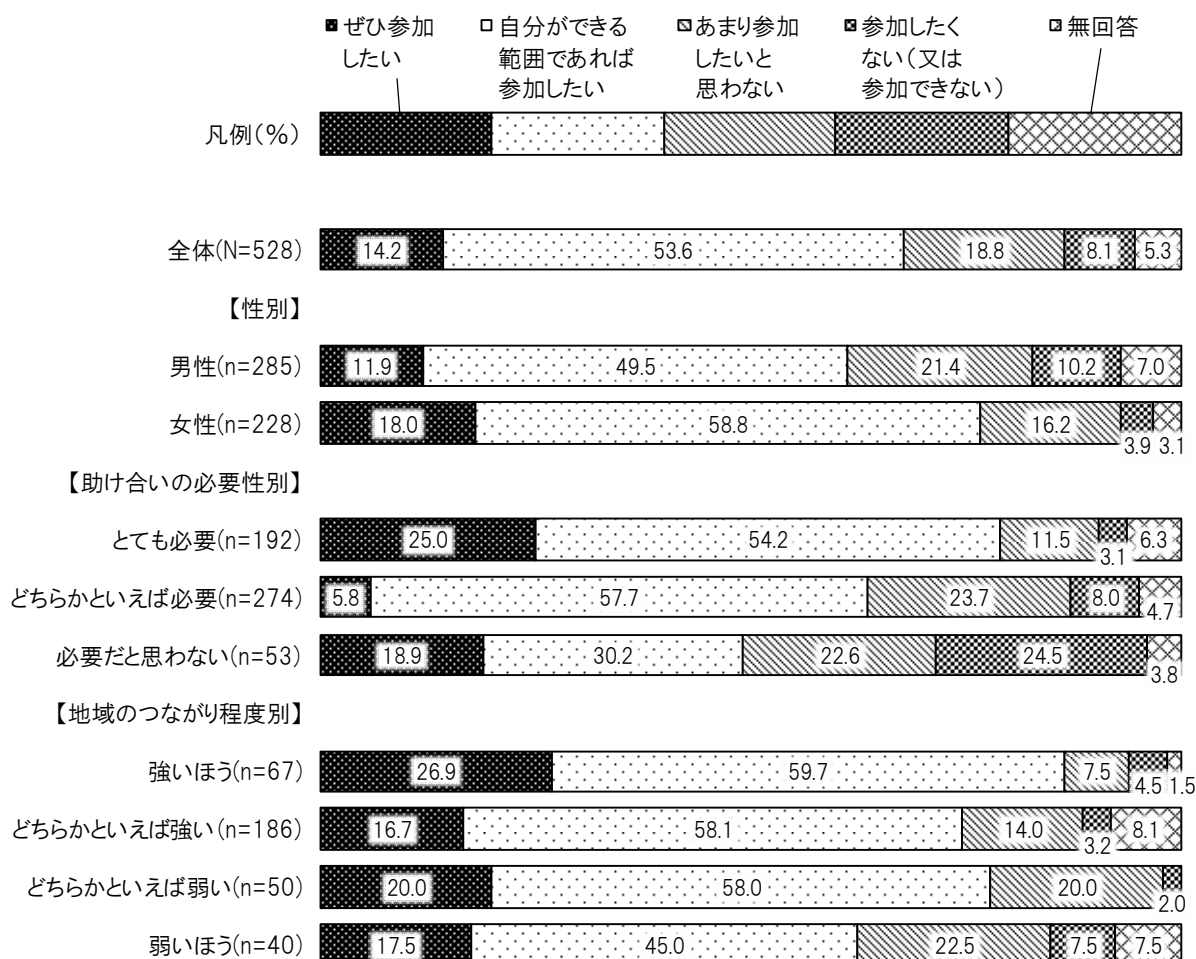
問 18 あなたは今後、ボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

ボランティア活動への参加意向については、「ぜひ参加したい」が14.2%、「自分ができる範囲であれば参加したい」が53.6%で、合計67.8%が『参加したい』と回答している。一方、「あまり参加したいと思わない」(18.8%)、「参加したくない(又は参加できない)」(8.1%)の合計は26.9%であった。

性別では、男性は女性に比べ『参加したくない(合計)』の割合が高く、女性は『参加したい(合計)』の割合が男性を大きく上回っている。

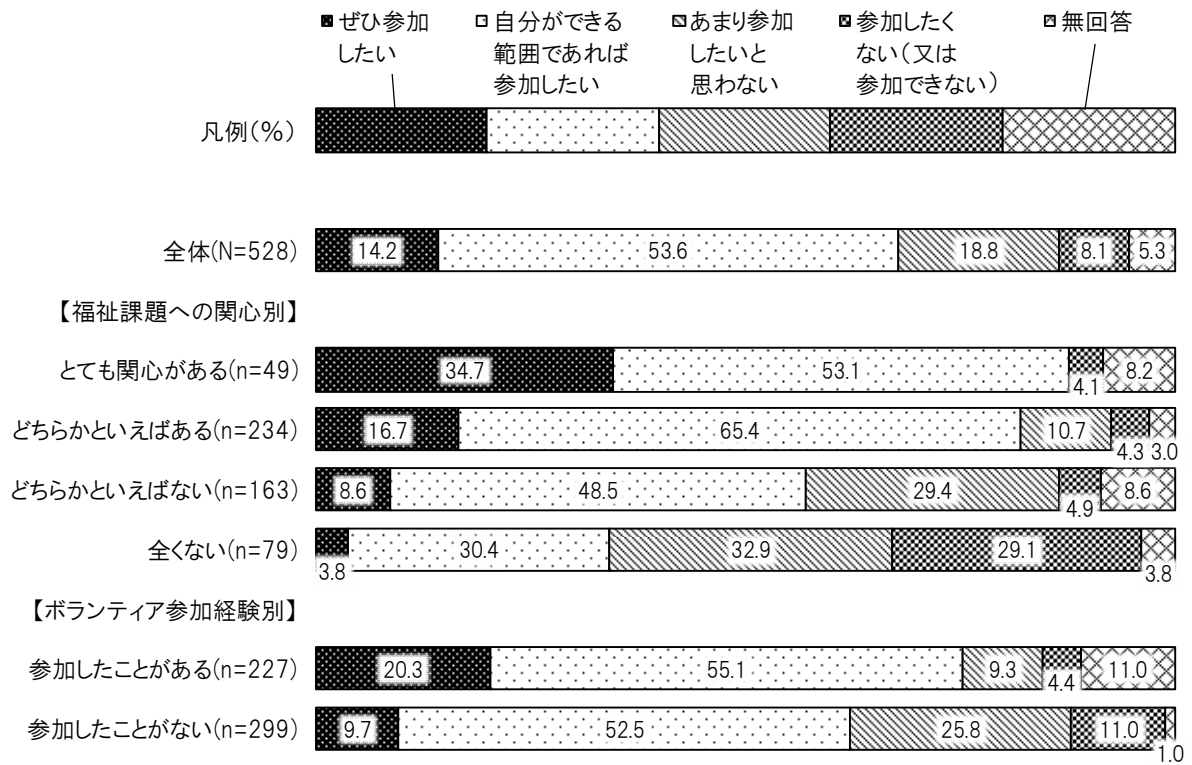
助け合いの必要性別では、必要と回答した層ほど『参加したい(合計)』の割合が高くなっている。

地域のつながり程度別では、強いほうと回答した層で『参加したい(合計)』の割合が他の層に比べて高くなっている。



福祉課題への関心別では、関心がある層で『参加したい（合計）』の割合が他の層に比べて高くなっている。

ボランティア参加経験別では、参加したことがない層の約6割が『参加したい（合計）』と回答している。

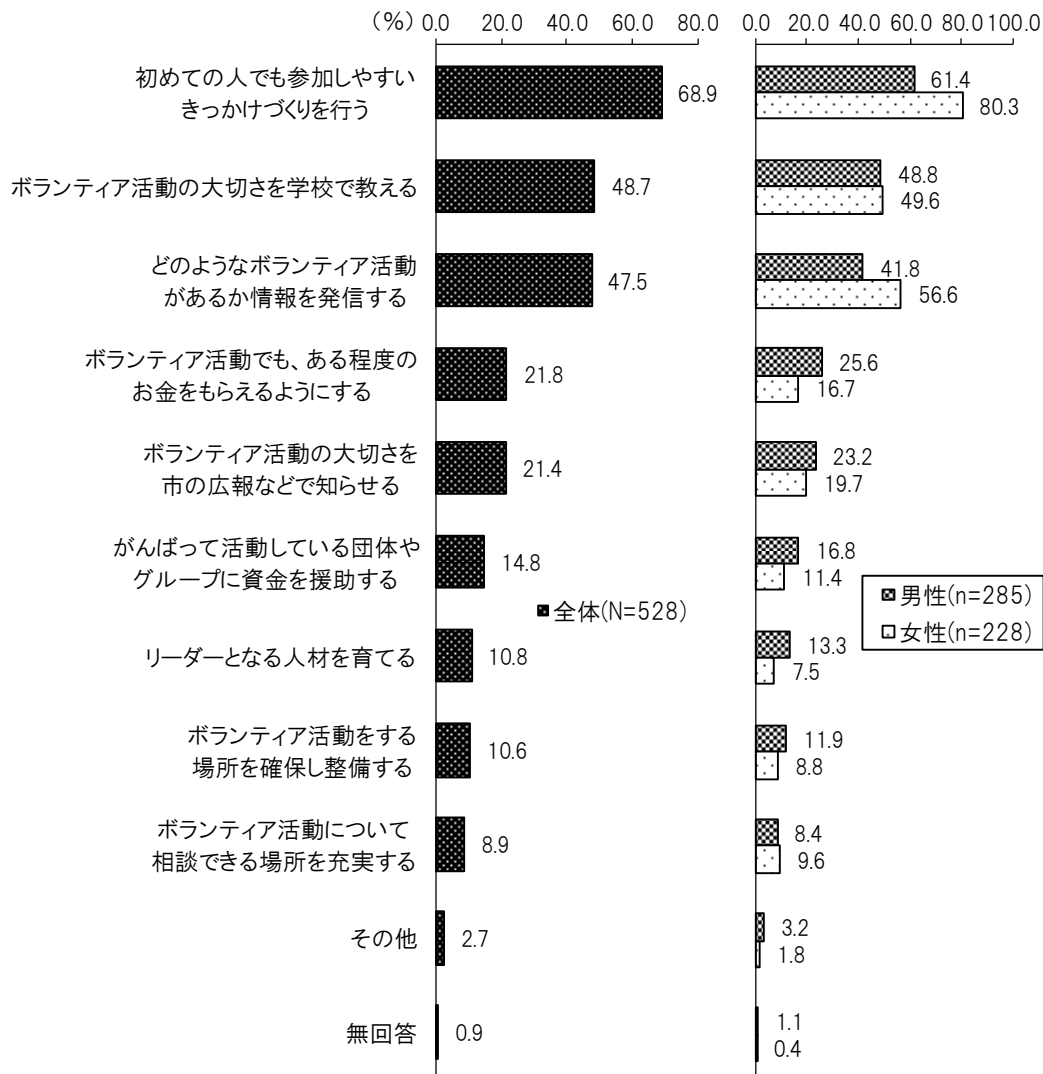


15 ボランティア活動を活発にするために大切なこと

問 19 あなたは、今後、宇和島市でボランティア活動を活発にしていくためには、何が大切だと思いますか。（〇は3つまで）

ボランティア活動を活発にするために大切なことについては、「初めての人でも参加しやすいきっかけづくりを行う」の割合が68.9%と最も高く、次いで「ボランティア活動の大切さを学校で教える」（48.7%）、「どのようなボランティア活動があるか情報を発信する」（47.5%）、「ボランティア活動でも、ある程度のお金をもらえるようにする」（21.8%）の順となっている。

性別では、女性は「初めての人でも参加しやすいきっかけづくりを行う」「どのようなボランティア活動があるか情報を発信する」の割合が男性を大きく上回っている。

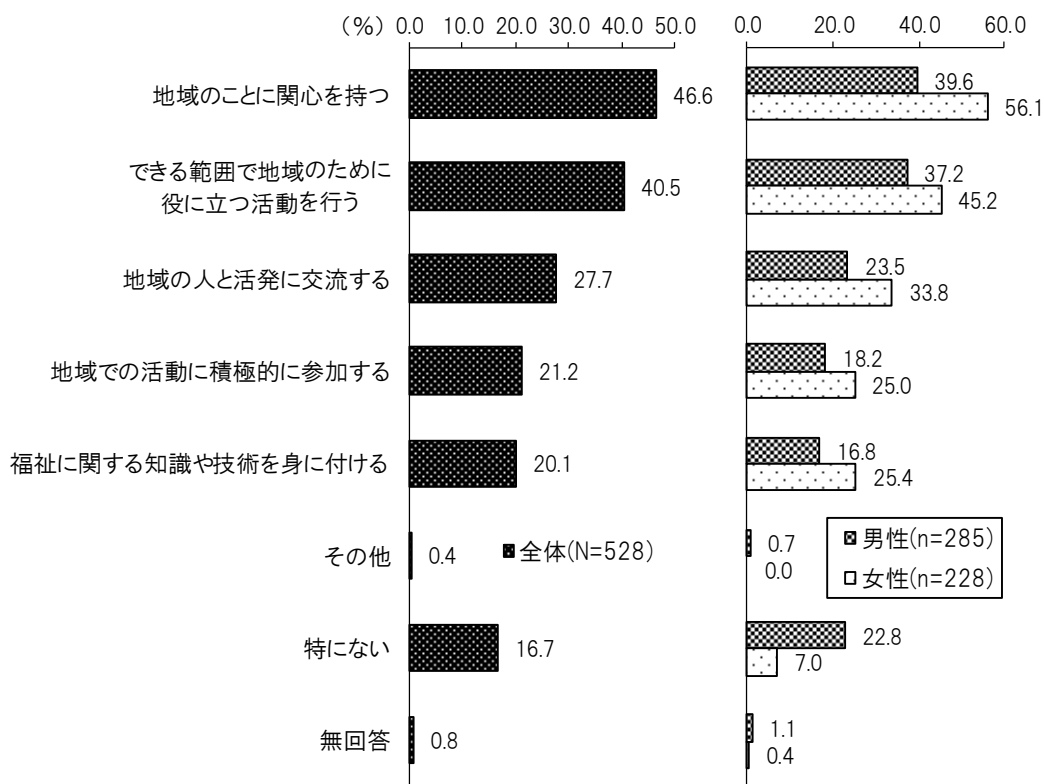


16 福祉のまちづくりを推進するためにできること

問 20 今後、宇和島市で「福祉のまちづくり」を進めるために、あなた自身はどんな行動ができますか。（○はいくつでも）

福祉のまちづくりを推進するためにできることについては、「地域のことに興味を持つ」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「できる範囲で地域のために役に立つ活動を行う」（40.5%）、「地域の人と活発に交流する」（27.7%）、「地域での活動に積極的に参加する」（21.2%）、「福祉に関する知識や技術を身に付ける」（20.1%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「特にない」の割合が高く、女性は「地域のことに興味を持つ」「地域の人と活発に交流する」などの割合が男性を大きく上回っている。



17 宇和島市への愛着度

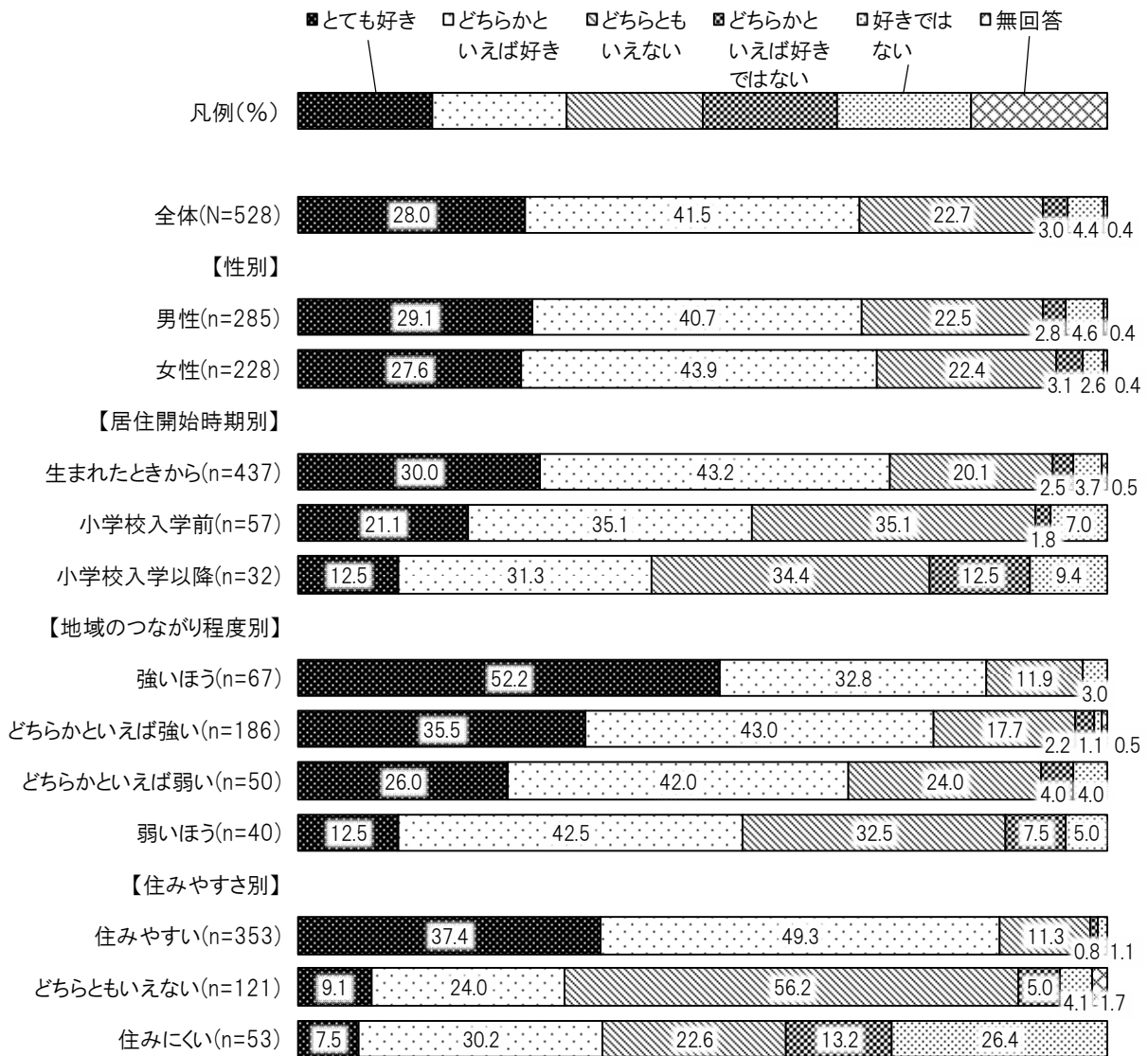
問 21 あなたは、宇和島市のことが好きですか。（○は1つ）

宇和島市への愛着度については、「とても好き」が28.0%、「どちらかといえば好き」が41.5%、合計で約7割（69.5%）が『好き』と回答している。一方、「どちらかといえば好きではない」（3.0%）、「好きではない」（4.4%）の合計は7.4%であった。

居住開始時期別（問3）では、居住期間が長いほど『好き（合計）』の割合が高くなっている。

地域のつながり程度別では、強いと回答した層ほど「とても好き」の割合が高くなっている。

住みやすさ別では、住みやすいと回答した層で「とても好き」の割合が他の層を大きく上回っている。



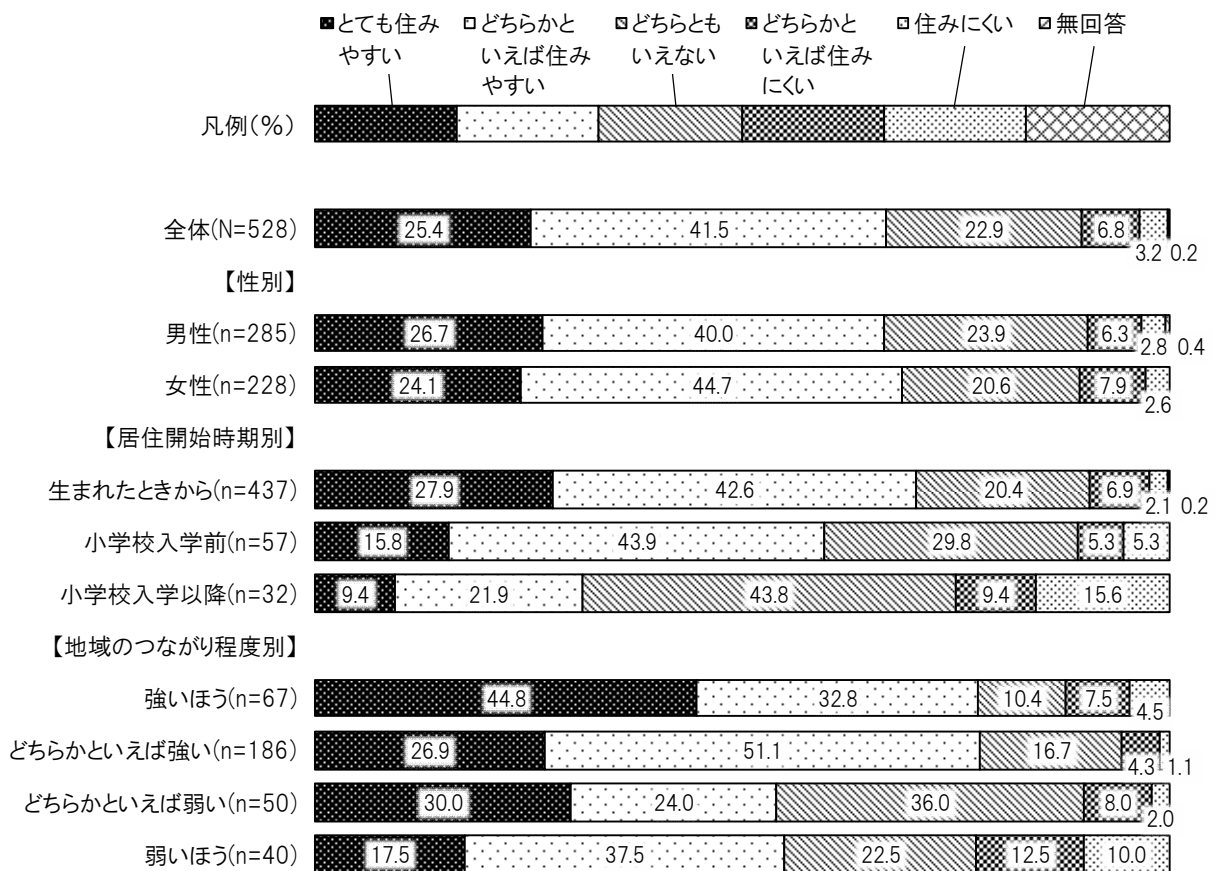
18 宇和島市の住みやすさ

問 22 あなたは、宇和島市を「住みやすいまち」だと感じますか。(○は1つ)

宇和島市の住みやすさについては、「とても住みやすい」が25.4%、「どちらかといえば住みやすい」が41.5%で、合計66.9%が『住みやすい』と回答している。一方、「どちらかといえば住みにくい」(6.8%)、「住みにくい」(3.2%)の合計は10.0%であった。

性別では大きな差はみられないが、居住開始時期別では居住期間が長いほど「とても住みやすい」の割合が高くなっている。

地域のつながり程度別では、強いほうと回答した層で「とても住みやすい」の割合が他の層を大きく上回っている。



19 将来、宇和島市に戻ってくることにについて

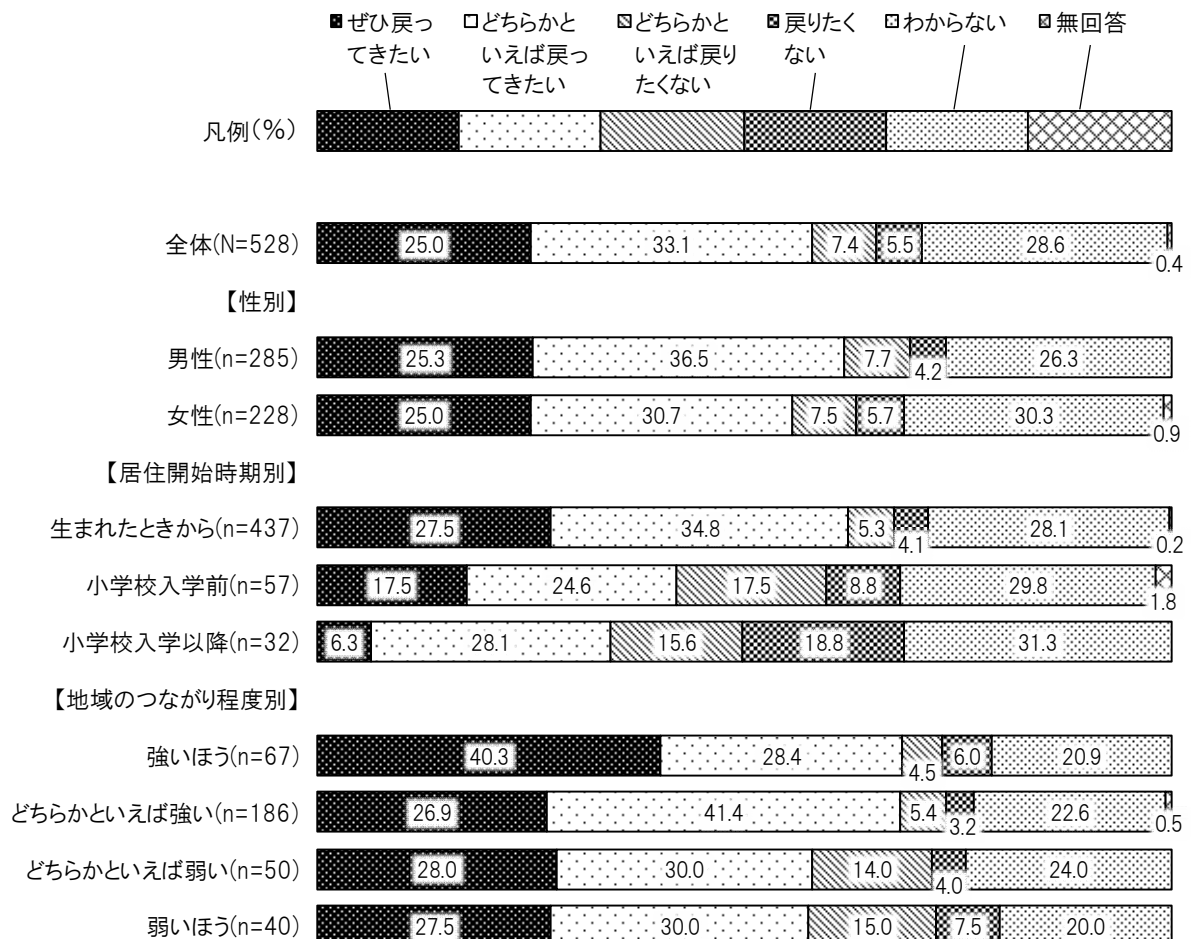
問 23 あなたは、将来、進学や就職で宇和島市を出ることになった場合、また宇和島市に戻ってきたいと思いますか。(○は1つ)

将来、宇和島市に戻ってくることにについては、「ぜひ戻ってきたい」が25.0%、「どちらかといえば戻ってきたい」が33.1%で、合計約6割(58.1%)が『戻ってきたい』と回答している。一方、「どちらかといえば戻りたくない」(7.4%)、「戻りたくない」(5.5%)の合計は12.9%であった。

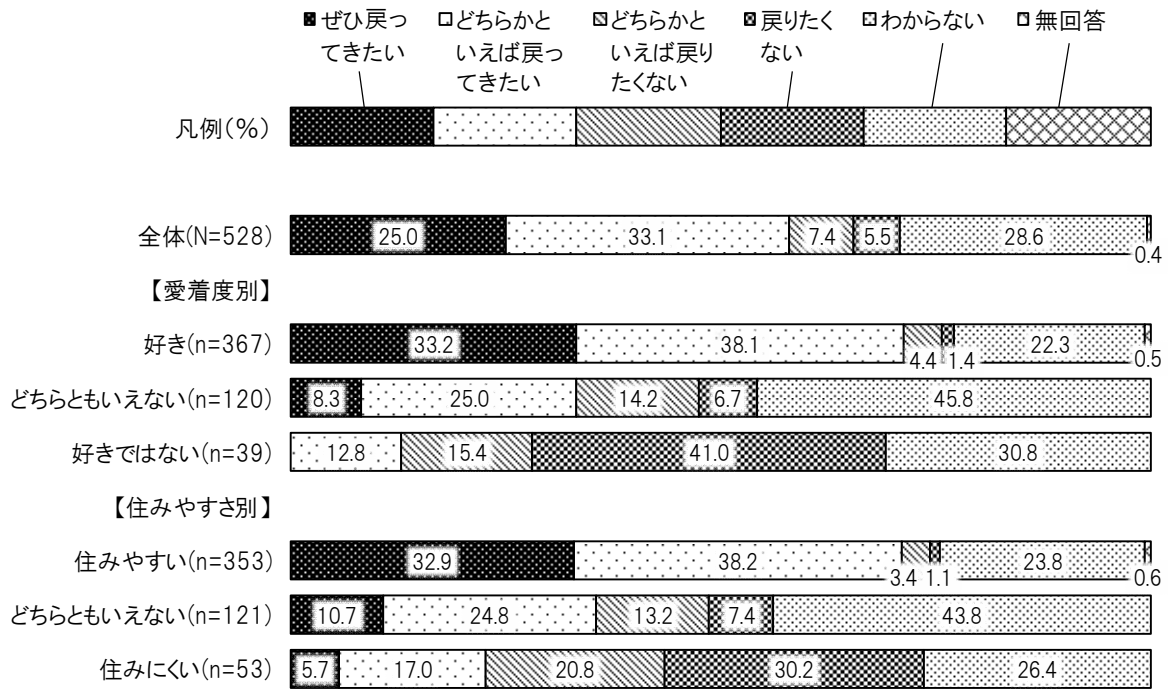
性別では、男性は女性に比べ「どちらかといえば戻ってきたい」の割合が高くなっている。

居住開始時期別では、居住期間が長いほど『戻ってきたい(合計)』の割合が高くなっている。

地域のつながり程度別では、強いほうと回答した層で「ぜひ戻ってきたい」の割合が他の層を大きく上回っている。



愛着度別では宇和島市を好きと回答した層で、住みやすさ別では住みやすいと回答した層で、『戻ってきたい（合計）』の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。



20 宇和島市の良さや自慢できること（自由記述回答）

問 24 あなたが思う、宇和島市の良さや自慢できることは何ですか。枠の中に具体的に記入してください。

※ 宇和島市の人、物、伝統、自然環境といった、あなたが大切にしたいもの、残しておきたいもの、誇れるもの、市外の人に紹介したいもの・・・など「福祉」のことにかかわらず、どのようなことでも結構です。

宇和島市の良さや自慢できることについて、自由記述方式で尋ねたところ、以下のような回答がみられた。なお、類似回答については、まとめて掲載している。

| 回答件数 | 回答内容 |
|------|----------------------------|
| 80 | 宇和島城 |
| 68 | 人が優しい(明るい人が多い) |
| 59 | 自然が豊か、空気がきれい |
| 54 | みかんがおいしい(段々畑) |
| 39 | 魚がおいしい |
| 39 | 鯛(鯛飯)がおいしい |
| 32 | 海がきれい |
| 24 | 牛鬼祭り |
| 22 | 山がきれい |
| 19 | 真珠 |
| 18 | お祭り(行事)がたくさんあって楽しい |
| 17 | ガイヤカーニバル |
| 17 | じゃこ天 |
| 14 | 食べ物がおいしい |
| 13 | 伝統的な行事がたくさん残っている |
| 13 | 笑顔であいさつをしてくれる |
| 11 | 住みやすい(治安が良い) |
| 6 | 静かなところ、時間の流れがゆっくりなところ、田舎 |
| 4 | ハツ鹿踊り |
| 3 | 和霊大祭 |
| 3 | 郷土料理がたくさんある |
| 3 | 伊達博物館、伊達家のこと |
| 3 | 町がきれい、ごみが落ちていない |
| 2 | 星がきれい |
| 2 | 天赦園 |
| 1 | 伊吹八幡神社、九島大橋、闘牛大会、お槍振り・・・など |

21 福祉のまちづくりに関する意見やアイデアなど（自由記述回答）

問 25 今後、宇和島市で「福祉のまちづくり」を進めるため、どのようなことが重要だと思いますか。まちづくりに関するご意見やアイデアなど、枠内に自由にご記入ください。

福祉のまちづくりに関する意見やアイデアなどを自由記述方式で尋ねたところ、以下のような意見がみられた。なお、自由記述については、誤字等の修正を除き、原文に基づいて性別に掲載している。

●地域の問題や課題に「とても関心がある」「どちらかといえば関心がある」人の回答

男性

- ・宇和島ボランティアなどをつくって地域の人々が誰でも参加できる交流場所を増やせばよい。
- ・宇和島を訪れた人がまた来ようかなと思うような景観づくり（道路の横にあるブロックを積み重ねたコンクリートについてコケを清掃し白く美化するなど）をする。例えば、古くなったブロックを点検すると同時に高圧洗浄する。ポイ捨て防止の呼びかけを増やすなど。
- ・高齢者や障がいのある人が使用しやすいものを増やす。町中で困っていたら、地域の人をみんなで助け合うことを頑張る。
- ・子どもでも分かるように学校で説明会を行う。
- ・積極的に人に移住してもらえるように、移住する人に何かしらのサービスを行う。（例）家電のプレゼント、地域の特産品、割引クーポン
- ・地域の人と助け合い、話し合う福祉のまちづくりにしたいです。
- ・福祉についてよく知るための講座や学習会。「ペコロスの母に会いに行く」などの上映会→地域の人との関わりを持つことができるようになる。
- ・不審者情報が宇和島市はよく出るので、子どもが安全に遊べる町にすることが重要だと思います。児童館などの子どもが遊べる場所も身近になく、公園も明るくてきれいな所が少ないので、もっと子どもが安心して遊べる町にしていっていいと思います。
- ・ポイ捨てや環境問題に関する悪影響をもたらすことはしないこと。～地区に分けて、ボランティア活動をする。
- ・ボランティアに参加したいとは思っているが、参加しにくい人がいたときには、しやすくするようにする。
- ・まず、福祉をするためには人材がいる。人材がいるには、まず給料を上げる。上げなければ、福祉で働く人は働くだけでメンタルズタボロ、少しでも給料を上げる。
- ・まずは小さくてもいいから一つの町で、地域のつながりを深めてそこからどんどん支え合い、助け合いの輪が広がっていくと良いと思います。なので、地域の行事をたくさんしていければいいと思います。
- ・助け合いや、支え合いを多くする。人と人とのコミュニケーションをできるだけ多くする。高齢者への思いを強くする。

- ・良い景色の場所がたくさんある。パチンコ店がたくさんある。
- ・一年に一回福祉に関する何かを開いて、参加してもらう。
- ・今、アンケートで丸をつけた所を实践する。
- ・宇和島市のことをもっと宣伝する。
- ・お店を残していく。文化を残す。
- ・学校で、授業として取り入れる。
- ・公園などの環境をもっときれいにする。
- ・公園をきれいに整備する。
- ・コロナでも人を想う心を持って、コロナだからと差別をしないような言葉、ポスター、広告が重要だと思います。
- ・コンビニなどの身近な場所でのふれあい活動をすること。
- ・知っている情報を伝え合う。
- ・市の人たちがボランティアがあることを知って、そして皆に広めていき全員が参加しようという気持ちにすること。
- ・障がい者や高齢者に優しく接する。差別したりしない。助け合いをする。
- ・障がいを持っている方たちの意見をしっかりと聞き入れ、〇〇があったほうが助かるなどがあれば、実際にやってみたい。よりたくさんの人たちが住みやすい町にしていくことが、必要だと思う。
- ・積極的にボランティアに参加してもらうように、声かけをして参加人数を増やす。地域の人々が、どんな取組をしているかなどを知らないかもしれないから、どのようなことをしているか、これからどんなことを進めていきたいか等を、地域の人に知ってもらう。
- ・助け合う。
- ・地域での活動を多くする。
- ・地域の方々と関わりを持つ。
- ・地域の方との交流を深める。積極的にごみ拾いをする。
- ・地域のごみ拾い。学校などで高齢者や障がいのある人への関心を深める。
- ・地域の人たちと交流し、距離を縮めることが大切なことだと思う。
- ・地域の人同士での活動を行い、住民同士のつながりを深める。福祉とはどういうものか改めて伝え、福祉について理解してもらう。
- ・月ごとに祭りや何かをする。
- ・どこか飛び込みスポットをつくってほしい。高さは、小・中・大でつくってほしい。もしつくったら、今、橋から飛び込んで怒られたけど、それもなくなる。あと、防波堤を大きくしてほしい。釣りでいっぱい人がいたときに、気をつかわないといけないから。九島に街灯をつけてほしい。九島の浦で釣りをするとき、暗くなったら見にくくなるから。
- ・何を伝えたいのかを考えて、それを実行する。
- ・初めての人でも参加しやすくする。
- ・パフィオは使いやすと思うけど、もっと自由に話せて交流できるスペースがほしい。
- ・日頃から福祉に関われるようにする。
- ・人々が助け合うまちづくり。

- ・福祉という言葉が分からないから、重要とか分からない。
- ・福祉に関することを学校で教える。
- ・福祉に関するポスターなどを貼る。
- ・ホームページみたいなものをたくさんつくる。
- ・僕は、人との関係を大切にすることが大切だと思います。理由は、人との関係が良くなるとお互いのことを知り、知っているからこそ助け合いや福祉のまちづくりを実現することができると思います。そして、人以外にも町について知ることが大切だと思います。町のことを通して、つながりが持てるかもしれないからです。
- ・ボランティア活動が大事だと思う。
- ・ボランティア活動とかを少しだけ多くしたら良いと思う。
- ・ボランティア活動を活発にする。
- ・ボランティア活動により多くの人が積極的に参加して、より良いまちづくりをすること。
- ・ボランティアについて、もっとたくさんの人に知ってもらったりすることが大切だと思います。
- ・まず、お金を払う。で、そこから1時間300円～みたいなことにしといて、ある程度ポイントが貯まったら1000円にするみたいな。
- ・まず、まちづくりに関わることを多くし、この行事に興味を持ってもらうことが必要だと思う。特に若者にできるだけ存在を知ってもらったほうが良いと思う。あとは、地域で大きく何度か活動すると思う。
- ・皆が福祉に関心を持つこと。
- ・もうちょっと子どもが遊べるレクリエーションの場がほしい。
- ・もっと市民の声を受け入れて、それを取り入れる。
- ・問20（福祉のまちづくりを進めるために、あなたができること）の1～5を一人一人が積極的に行っていくことが重要。

女性

- ・映画館、カフェなどをつくってください。
- ・外国人は、マップを見てもどこに行けばいいか分からない人がいるから、もっと分かりやすくすればいいと思います。伝統は壊すんじゃなくて、もっと残していけば良いと思います。宇和島だけの物をつくれれば良いと思います。
- ・介護を体験する。学校で教えてもらおう。講義をしてもらおう。
- ・学校で、集会や調べ活動などを行う。動画などをつくる。
- ・地域の行事に参加し、自分ができる限りのことをする。他人任せにしない。交流を大切にすること。
- ・地域の人とふれあう。
- ・地域の一人一人が協力して、アイデアなどを出したりしていく。
- ・何かショッピングセンターなどをつくる。Go To Eat 券などをつくる。
- ・初めてでも参加しやすいようなボランティア活動の紹介をする。誰でも気軽に使える休憩所のような所をつくる。
- ・ボランティアを多く行う。

- ・人と人との交流があったりしたら、そこから仲良くなったり、宇和島っていいなと思うような人が増えるのではないかと思います。宇和島にこれからもずっと残していきたいものとかを紹介したり、子どもから大人が交流する楽しいイベントなどがあつたら、少しでも良くなるのではないかと思います。
- ・福祉のまちづくりを進めるためには、ボランティアがいいと思います。人をたくさん集めてしたら、宇和島の人に関わりが増え、福祉のまちづくりを進めることができると思います。
- ・私は、最近の宇和島市があまり好きではないです。なぜなら、町のお店がどんどんなくなっていることです。私はサーティワンアイスクリームやミスタードーナツ、TSUTAYAなどいろんなお店がなくなっていて、とても寂しいです。できることなら、返してほしいです。あなたたちは、皆が笑顔になれる店を消して楽しいですか？ちゃんと考えてから行動したほうがいいですよ。皆、あなたたちのせいで悲しんでいますよ。
- ・「全中学校」や「全小学校」などが集まって、1日いろいろな所のごみ拾い。
- ・「福祉」という意味を知らない子どもがたくさんいると思うので、学校などで説明、紹介をしてもらおうと、興味がわくと思います。実際、私はこのアンケートを答えて、少し興味を持ちました。それが広がっていくと、みんなも福祉について興味、関心が出て来るのではないかと思います。
- ・福祉について皆に知らせていくこと。地域の人と交流できる場をつくること。いろんな人と支え合い、助け合って生活すること。
- ・新しい技術などを取り入れ、町を発展させる。
- ・田舎にも施設を設置し、交流できる機会を増やす。見回りをする人をつくる。伝統について知る機会をつくる。清掃活動をするときや交流するときは、友人なども誘って参加する。相談窓口をつくる。
- ・宇和島市内の人みんなが助け合う。
- ・宇和島市や地域のことに関心を持つ。
- ・宇和島全体に呼びかけをする。
- ・宇和島にはない物をつくってほしいです。
- ・宇和島の魅力をもっと知ってもらおう。
- ・映画館とスタバとミスタードーナツ、サーティワンアイスクリームをつくってほしいです。
- ・お年寄りと積極的に交流し合う。
- ・学校で少しでも学べるようにする。（中学生・高校生を中心に）
- ・学校の総合の時間などで、福祉についてまとめ、学校の代表の人が集まり、発表し合う。こういう活動を増やしたり、学校で習うことで自分からでなくても、授業でやらないといけなくなるので、自然に福祉について学ぶことができる。関心がある人が増えていく。
- ・活動を増やして、参加しやすくする。
- ・協力し合うこと。CMをつくる。
- ・子どもが遊べる所が少ないと思うので遊べる所をつくる。
- ・子どもが関心を持つことが大切だと思う。
- ・小・中学校の生徒たちに講演会をする。ボランティアの大切さを教える。

- ・自分から進んで、ボランティア等に参加できるような環境。「福祉」という少し難しそうな単語だから、もっと楽しく手軽にできるようなことから始めて、最終的に「福祉のまちづくり」を進めていけば良いと思う。
- ・積極的にできる範囲でボランティア活動に取り組む。
- ・狭い道を広くしてほしい。公園をもっとつくってほしい。丸山の階段の草を刈ってほしい。
- ・建物（ショッピングモール）などを増やしてほしい。
- ・地域の方との交流。
- ・地域のために役立つ活動をする。
- ・地域の人と交流することが大切。
- ・地域の人や幅広い年齢の人との交流の機会が増えるように、学校や保育園などいろんな施設で交流の場を設ける。
- ・地域のボランティア活動に参加しやすい環境と情報の発信。（広報やSNSで発信していただけると見る機会が多くなるのでしてほしいです！）
- ・地域や市などで皆で交流できる場をつくる。
- ・できるだけ地域の活動に、参加するようにする。
- ・人々のつながり。
- ・一人一人が福祉について考え知ること。ボランティアを増やすこと。気軽にできること。
- ・一人一人が福祉に関心を持つことが重要だと思う。
- ・福祉に関係する知識をもっといろんな人に、知ってもらうことが大切だと思う。お年寄りの方たちと、ふれ合える機会があるといい。
- ・福祉に関する施設を建てる。
- ・福祉に関する知識を身に付ける。宇和島を好きになる。
- ・福祉のことを知る。
- ・福祉の仕事に就きやすいような環境と、良い人材を育むことがとても重要。そのために、学校内、学校外でもボランティアなどの活動をする場を多く持たないといけない。
- ・福祉の理解を深める。
- ・ボランティア活動をするきっかけがあれば、ボランティアの良さが誰でも分かると思います。皆が積極的に参加するためには、ごほうびがあれば良いと思います。
- ・ボランティア参加を呼びかける。
- ・ボランティアに参加したことのない人にその大切さを伝え、いつ、どんなボランティアがあるのか知らせる。または、ポスターを配布する。
- ・ボランティアに参加するなど、ボランティアのすごさをもっとみんなに知らせて、多くの人が参加してくれるようにすればいいと思う。
- ・町もきれいにして良い生活を送りたい。
- ・皆に福祉のことを広める。
- ・もっとたくさん福祉に関する施設をつくる。講演会などを開くこと。
- ・もっと福祉について、知ることが重要だと思う。
- ・分かりやすく書いた商品の販売。配達をする。

- ・私が特に1番大切だと思うのは、やっぱり近所の人たちとの交流だと考えます。なぜなら私自身、近所に住んでいる人を2、3人ほどしか知っていないからです。どうして私が2、3人しか知らない理由は、2つあります。1つ目は、会ってもあいさつをしたことがないからです。確かにあいさつは、元気になれる大切な言葉ですが、私はあいさつだけでは人を知ることはできないと思います。2つ目は、あまり家から出ない人もいると思うからです。実際、私もあまり出ません。なぜなら出る理由がないからです。なので、家を出る理由、例えばイベントなどを行うと交流ができると思います。
- ・私たち学生にとって、遊ぶ場所が少なすぎる。もっと遊ぶ場所を増やしてほしい。小学生の登下校に見守りの人がいるのはすごく素敵だと思う。海をきれいに保てているのは、市民一人一人の心がけがしっかりしているからだと思う。続けたい。そして、パチンコの数が多すぎる。
- ・私は、おじいちゃん、おばあちゃんと、もっと関わりたいです。そういうイベントがあったら良いなと思います。

性別不明

- ・地域の人と関わる機会があまりないので、そういう機会をつくるのが大切だと思う。
- ・宇和島市長を中心にみんなで協力して支え合い、さらによい町をつくる。
- ・学校などの公共の施設でスロープをつくったり、段差を少なくしたりして、障がい者に優しくする。
- ・ごみ拾いの活動とかする。
- ・パチンコがあるのはいいですが、大きすぎます。言いすぎですが、パチンコの町になっていると思います。お金が足りないとか、人手不足などあると思いますが、年齢関係なく、楽しめる映画館などがある楽しい町にしてほしいです。長くなり、すみません。

●地域の問題や課題に「どちらかといえば関心はない」「全く関心はない」人の回答

男性

- ・「福祉のまちづくり」を目指すための活動をもっと増やして、それを知らなかったと言う人がゼロ人になるようにすること。
- ・高齢者などが暮らしやすいように、スロープや手すりなどをつける。階段を減らし、エレベーター、エスカレーターを増やす。
- ・参加しやすいようにする。きっかけをつくる。
- ・あいさつ。
- ・遊ぶ場所をもっとつくってほしい。
- ・宇和島市の有名な所を地図に書く。
- ・学校で福祉に関する授業を増やす。
- ・学校でボランティア活動を行うのはとても良いことだと思うけど、もちろん参加しにくい人もいたので、1か月に1回ぐらい、全校でそういったボランティアをすれば良いと思う。
- ・子どもたちが遊べる所を、もうちょっとつくってほしい。

- ・住民が必要なものを明確にする。
- ・学校などで障がいのある方と関われる場所をつくるのが大切だと思う。あと、スロープとか点字ブロックなどをつくるとか、きれいにするとか、邪魔な物は排除するとかできたらいいかなと思う。障がいのある方も外国の人とかも住みやすい環境があればいいなと思う。
- ・世代交流。
- ・地域での活動に参加する。
- ・地域での交流を深めて仲良くなる。
- ・地域の人たちと交流をしたりする。
- ・地域の人と、ふれ合える場をつくること。
- ・地域の人との関わりの場を設けたりする。
- ・地域を知ること。
- ・手助けが必要みたいなバッジを配布する。
- ・初めてでも活動しやすいきっかけをつくる。
- ・パチンコ店を減らす。
- ・一人一人が福祉についての知識を持つのが大切だと思う。
- ・一人一人が皆のことを。
- ・福祉の良さを伝える。
- ・ボランティアをもっとする。
- ・まず福祉について知り、全員で助け合おうという目標をつくり、市民全員で取り組んで、市ホームページなどで紹介。一人一台のタブレットなども、ホームページを見やすくしたり、どんなことを誰がやったのか見れる市のページみたいなものをつくる。
- ・町にポスターなどを貼っていけば良いと思いました。
- ・皆の性格を直す。
- ・もう少し子どもが遊ぶ場所があれば嬉しい。
- ・もっと子どもが遊べる公園や施設がほしい。
- ・もっと遊べるスペースをつくってほしい。
- ・もっと福祉に関する知識を広めていくこと。
- ・優しいまちづくりをする。
- ・老人ホームをつくる。
- ・あいさつ大事。
- ・遊ぶ場所を増やしてほしい。
- ・海や川の掃除をもっと大きな範囲で掃除する。
- ・宇和島の良さを知る。
- ・介護、福祉の仕事をしている人の待遇を良くし、給料も上げる。
- ・看板をつくって、皆に分かりやすくする。
- ・金。
- ・景品を付ける。
- ・ゲームが楽しくできる環境を増やしてほしい。
- ・住んでいる人に具体的に協力できるようなことを知ってもらおう。

- ・地域の人と仲良くなる。
- ・福祉をしても変わらないと思います。宇和島にはもっと遊ぶ所をつくってほしいなと思います。これで僕の発表を終わります。
- ・ポスターやインターネットで情報を発信する。
- ・ボランティア活動などの情報をもっと広く細く発信する。
- ・ボランティアのようにすれば、参加しようと思う人も限られてくるので、バイトのような感じで、お金をもらえるようにすれば活動に参加する人が増えると思います。
- ・ボランティアを増やす。
- ・皆が高齢者をいたわることができるようにするまちづくり。

女性

- ・子どもの遊ぶ場所をもっと増やしてほしい。野良猫をもっと減らしてほしい。
- ・あいさつなど。
- ・今ある課題や今いる苦しんでいる人たちを改善していくとともに、これから起こりうる課題や口に出せていない人の悩みにも寄り添っていくこと。
- ・映画館とスターバックスとミスタードーナツとサーティワンアイスクリームをつくってほしいです。あと、エミフルつくってほしいです。
- ・エミフルつくってほしい。
- ・お店などを増やす。
- ・学校全体で地域のボランティアに参加することなどが重要だと思う。
- ・学校とかの行事で「福祉のまちづくり」があることを紹介してもらったりする。
- ・学校など全体で活動する。
- ・草ひきやごみ拾いなどをして宇和島市をきれいにしたり、地域の人たちとの交流を深めるために、ボランティア活動をしたらいいと思います。
- ・高齢者が行くような場所しかないから、もっと若者が行くような所をつくってほしい。祭りなどをやるときは、もっと宣伝してほしい。エミフルをつくってほしいです。
- ・高齢の方が宇和島市には多いので、高齢の方にも優しい町にしてほしいです。
- ・進んで人を助ける。
- ・地域のことに興味を持つことや、地域の人と活発に交流すること。自分ができる範囲での人助けをすることが重要だと思います。自分ができる範囲での人助けは、困っている人を見たら、すぐに行動できるようにならないといけないから、普段から「人助けをする」という意識を持つように呼びかけをしたら良いかなと思いました。
- ・地域の人たちで協力する。
- ・地域の人と交流を深めること。
- ・小さい頃からそういう知識を身に付けておくこと。
- ・問 19（ボランティア活動を活発にしていくために大切なこと）で選んだように、初めての人でも参加しやすいということが重要だと思いました。
- ・初めての人でも参加しやすいきっかけづくりを行うと、どんな人でも参加してくれると思いました。また、ボランティア活動の大切さを学校などで学ぶのもいいと感じました。
- ・バリアフリー化をする。

- ・人々の交流の場を増やす。
- ・一人一人が地域への関心を持ち、自分たちができる範囲で活動していくこと。
- ・一人一人が小さな声に耳を傾けていくことが大切。地域で楽しい行事を増やし、誰もが気軽に参加できるようにしたら良いと思う。
- ・一人一人の気遣いを大切にする。
- ・福祉のまちづくりを積極的にする。皆に呼びかけを行う。
- ・ボランティア以外でも人のためにできることをする。
- ・ボランティア活動などを増やしたりすることが重要だと思います。
- ・ボランティア活動を2か月に1回ぐらい考えたりする。パチンコ店が多すぎると思いました。
- ・ボランティアを行う。
- ・町をきれいにするボランティアを増やし、助け合いや協力ができる宇和島にしていくことが大切だと思う。
- ・皆、仲良くする。
- ・空き家や空き地をなくす。
- ・遊べる場所を増やす。
- ・意見箱みたいなのを設置して、地域の人の声を市の人に聞いてもらいたい。
- ・うーん、特にはないです。でも、スターバックスがほしい。エミフルやイオンのようにでかいショッピングモールがほしい。エミフルなどが遠いから、身近な所にあるほうが助かります。宇和島なにもなさすぎ～！
- ・困っている人がいたら助けることが大切だと思う。
- ・ごみ拾いスタンプラリー。
- ・積極的に地域の行事に参加して、もっと地域を知ったり、人との交流を深めること。
- ・助けられる側がちゃんとお礼とかを言うこと。
- ・誰もが参加できる、障がい子どもたちなどとの交流の会を開く。例えば、一緒にご飯を食べたり、遊んだりする。
- ・地域の人との関わり。
- ・バス停に椅子や屋根をつけて、誰でも利用しやすいようにしたらいいと思います。
- ・人々の深まりがもっと良くなれば良いと思う。
- ・ボランティア活動を行ったりする。
- ・呼びかける。
- ・ボランティア活動の種類を増やし、小さい子でもできるようなことをする。

性別不明

- ・全ての地面を点字ブロックにする。
- ・狭い道や崩れている所があるので、車椅子の人でも通りやすくしてほしい。
- ・皆が平等ということをはげめる。

宇和島市 地域福祉の推進に関する 中学生アンケート

～ご協力のお願い～

宇和島市では、これからの住みやすいまちづくりを目指して、新しい「福祉のまちづくりの計画（第3期宇和島市地域福祉計画）」の作成を進めています。

このアンケートは、宇和島市の中学校に通う皆さんが、日頃から「福祉」について思っていること、行っていることなどについて知り、これからの福祉のあり方を考えることに役立てることを目的としています。

調査は、誰が記入したのかわからないよう無記名で行い、また、テストではありませんので、安心して思ったことを記入してください。

回答へのご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年9月

宇和島市保健福祉部

記入にあたってのお願い

- 1 この調査票に黒の鉛筆又はボールペンで記入してください。
- 2 番号を選ぶ質問は、番号に○をつけ、書くところがある質問では（ ）内に書き込んでください。
- 3 書き終わったら、担任の先生に提出してください。

～ はじめにお読みください ～

地域福祉とは？

「福祉」といえば、高齢者の福祉や障がい者の福祉、児童福祉など、法律や制度によって対象者ごとに分かれたイメージがあります。

「地域福祉」とは、子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、対象によって区分されることなく、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、地域に暮らす住民の皆さんがお互いに支え合い、助け合いの関係を築きながら、日常生活の様々な困りごとや不安を、住民一人一人が主体となって解決していく取組です。

地域福祉を進めることによって期待されること

ふれあいのある
地域



困ったときに
助け合える地域



見守り活動など
安心できる地域



つながりを
感じられる地域



- 宇和島市では、住民の皆さんと一緒に地域福祉を進めていくための計画づくりに取り組んでいます。
- 住民参加の一つとして、このアンケートにぜひご協力ください。



問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 答えたくない |
|------|------|----------|

問2 あなたが通っている学校はどこですか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 宇和島市立城東中学校 | 5 宇和島市立三間中学校 |
| 2 宇和島市立城南中学校 | 6 宇和島市立津島中学校 |
| 3 宇和島市立城北中学校 | 7 愛媛県立宇和島南中等教育学校 |
| 4 宇和島市立吉田中学校 | |

問3 あなたは、宇和島市にいつ頃から住んでいますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 生まれたときからずっと | 3 小学校に入ってから |
| 2 小学校に入る前から | 4 中学校に入ってから |

問4 あなたは、誰と一緒に住んでいますか。(単身赴任など仕事の関係で離れて暮らす人も含む。)
(〇はいくつでも)

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 父親 | 3 祖父 | 5 きょうだい |
| 2 母親 | 4 祖母 | 6 その他() |

問5 あなたはふだん、近所の人とあいさつをしていますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|----------|
| 1 自分から進んでしている | 3 しない |
| 2 相手がしたときにはする | 4 その他() |

問6 あなたの家族や友人・知人など身近な人に、手助けの必要なお年寄りや障がいのある人がいますか。(〇は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問7 あなたは、ふだん、1日に平均何時間ぐらい家事の手伝いをしていますか。(〇は1つ)

※ 家事とは、食事のしたくや洗たく、そうじなどのほか、きょうだいや祖父母の世話なども含みます。

- | | | |
|-----------|-----------|-------------------|
| 1 1時間未満 | 3 2～3時間未満 | 5 5時間以上 |
| 2 1～2時間未満 | 4 3～5時間未満 | 6 家事を手伝うことはほとんどない |

問8 あなたは、街で困っている人を見かけたとき、手助けをしていますか。(例えば、階段やスロープでの車いすの手助けや横断歩道を渡る手助け、バス・電車で席をゆずる・・・など)
(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 積極的に手助けしている | 4 その他() |
| 2 求められて手助けしたことがある | 5 特に何もしない |
| 3 心がけているが機会がない | |



問8で「1～4」と回答した方は次は問10へ、「5」と回答した方は問9へお進みください

問9 【問8で「5」と回答した方におたずねします】何もしない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 恥ずかしいから | 5 面倒だから |
| 2 どのようにしてよいかわからないから | 6 その他() |
| 3 ふだん気にしていないから | 7 特に理由はない |
| 4 お節介になるような気がするから | |

問10 あなたは、ふだんの暮らしの中で、ご近所による支え合い、助け合いが必要だと思いませんか。
(○は1つ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 とても必要だと思う | 3 どちらかといえば必要だと思わない |
| 2 どちらかといえば必要だと思う | 4 必要だと思わない |

問11 あなたがお住まいの地域では、住民同士のつながりは、強いほうだと思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1 強いほうだと思う | 4 弱いほうだと思う |
| 2 どちらかといえば強いほうだと思う | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば弱いほうだと思う | |

問12 あなたは、話を聞いてくれたり、困ったときに助けてくれたりする友人がいますか。
(○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| 1 たくさんいる | 2 少しはいる | 3 ほとんどいない |
|----------|---------|-----------|

問13 あなたは、悩みや困りごとのある友だちがいたら、自分から声をかけて相談に乗ることができますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1 できると思う | 2 できないと思う | 3 その他() |
|----------|-----------|----------|

問 14 あなたは、住んでいる地域の福祉に関する様々な問題や課題に関心がありますか。

(例：ひとり暮らし高齢者の見守り、経済的に生活に困っている世帯、子どもの貧困、子どもや高齢者への虐待、ひきこもりなど) (〇は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 とても関心がある | 3 どちらかといえば関心はない |
| 2 どちらかといえば関心がある | 4 全く関心はない |

問 15 あなたは、自分が住んでいる地域の子ども会や自治会などの、地域の行事や活動に参加したことがありますか。コロナ前の経験も含めてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1 自治会や公民館の活動 | 8 高齢者や障がい者、子育てを支援する活動 |
| 2 子ども会の活動 | 9 まちのPRや観光スポットなどを紹介・案内する活動 |
| 3 お祭りや伝統芸能などの活動 | 10 住んでいる地域や文化を学ぶ活動 |
| 4 スポーツ・レクリエーション活動 | 11 その他() |
| 5 文化・芸術などの活動 | 12 参加したことがない |
| 6 交通安全・防災・防犯活動 | |
| 7 まちの美しさを守るための清掃活動 | |

問 16 あなたは、学校の活動以外でボランティア活動に参加したことがありますか。(〇は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 現在、参加している |
| 2 現在は参加していないが、以前に参加したことがある |
| 3 参加したことがない → 問 18 へお進みください |

問 17 【問 16 で「1」「2」と回答した方におたずねします】

どのようなボランティア活動に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 道路や河川などの環境美化に関すること | 6 高齢者の福祉に関すること |
| 2 災害復興に関すること | 7 障がいのある人の福祉に関すること |
| 3 防災や防犯など安全に関すること | 8 子育て支援に関すること |
| 4 スポーツ活動に関すること | 9 文化や芸術活動に関すること |
| 5 祭りなどの催しや行事に関すること | 10 その他() |

問 18 あなたは今後、ボランティア活動に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 ぜひ参加したい | 3 あまり参加したいと思わない |
| 2 自分ができる範囲であれば参加したい | 4 参加したくない(又は参加できない) |

問 19 あなたは、今後、宇和島市でボランティア活動を活発にしていくためには、何が大切だと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 ボランティア活動の大切さを学校で教える
- 2 ボランティア活動の大切さを市の広報などで知らせる
- 3 どのようなボランティア活動があるか情報を発信する
- 4 ボランティア活動について相談できる場所を充実する
- 5 初めての人でも参加しやすいきっかけづくりを行う
- 6 ボランティア活動をする場所を確保し整備する
- 7 がんばって活動している団体やグループに資金を援助する
- 8 ボランティア活動でも、ある程度のお金をもらえるようにする
- 9 リーダーとなる人材を育てる
- 10 その他（)

問 20 今後、宇和島市で「福祉のまちづくり」を進めるために、あなた自身はどんな行動ができると思いますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 地域のことに関心を持つ | 5 できる範囲で地域のために役に立つ活動を行う |
| 2 福祉に関する知識や技術を身に付ける | 6 その他（) |
| 3 地域での活動に積極的に参加する | 7 特になし |
| 4 地域の人と活発に交流する | |

問 21 あなたは、宇和島市のことが好きですか。（〇は1つ）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 とても好き | 4 どちらかといえば好きではない |
| 2 どちらかといえば好き | 5 好きではない |
| 3 どちらともいえない | |

問 22 あなたは、宇和島市を「住みやすいまち」だと感じますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 とても住みやすい | 4 どちらかといえば住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 5 住みにくい |
| 3 どちらともいえない | |

問 23 あなたは、将来、進学や就職で宇和島市を出ることになった場合、また宇和島市に戻ってきたいと思いませんか。（〇は1つ）

- | | |
|------------------|----------|
| 1 ぜひ戻ってきたい | 4 戻りたくない |
| 2 どちらかといえば戻ってきたい | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば戻りたくない | |

問 24 あなたが思う、宇和島市の良さや自慢できることは何ですか。枠の中に具体的に記入してください。

※ 宇和島市の人、物、伝統、自然環境といった、あなたが大切にしたいもの、残しておきたいもの、誇れるもの、市外の人に紹介したいもの・・・など「福祉」のことにかかわらず、どのようなことでも結構です。

| |
|--|
| |
|--|

問 25 今後、宇和島市で「福祉のまちづくり」を進めるため、どのようなことが重要だと思いますか。まちづくりに関するご意見やアイデアなど、枠内に自由にご記入ください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

～ご協力ありがとうございました～

宇和島市 地域福祉の推進に関する中学生アンケート調査 報告書

発 行 / 令和3（2021）年11月
発 行 者 / 宇和島市 保健福祉部 福祉課
〒798-8601 愛媛県宇和島市曙町1番地
電 話（0895）49-7016
FAX（0895）24-1160
E - M a i l / fukushi@city.uwajima.lg.jp
